市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－①	観光誘客プロモーション事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	観光文化スポーツ局　観光文化課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容	県外・国外の主要都市において、八重山の観光物産展を開催し販路拡大を図るとともに、新石垣空港の開港をPRすることにより、新規観光客の獲得に繋げる。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,915				
	(b) 予算現額	5,915				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,915	0			
B. 執行済額		3,837				
うち交付金充当額		3,069				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		64.9%				
予算の状況の説明		不要額2,078千円の発生理由として、当初の計画では観光物産展開催場所への集客効果を高めることを目的に、文化芸能披露及び地元アーティストによるミニライブ等を予定していたが、開催費用については、八重山ビジターズビューロー（以下、YVBという。）の予算（一括交付金）を活用したため、アーティスト等招聘に係る旅費負担が不要となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光キャラバンの実施回数	目　標	（　9都市　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	9都市			
観光ｾﾐﾅｰにおけるﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ実施	目　標	（　9都市　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	9都市			

達成状況説明	北海道（新千歳）、仙台、金沢、富山、名古屋、神戸、広島、福岡、那覇の9都市において八重山ビジターズビューローと連携した誘客キャラバンや物産展を実施するとともに、旅行会社担当者向け観光セミナーを開催し、新石垣空港開港及び八重山の魅力発信を行った。結果、3月7日の新空港開港を契機に観光客数は順調に推移し、3月における観光入域客数は前年比35.3%増の7万9千人となり4年ぶりに7万人を突破した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
観光キャラバン、セミナー実施回数	目　標	（　－　）	（　9都市　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		9都市			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	新石垣空港の開港年にあたる2013年は、観光入域目標を過去最高の80万人と設定しており、目標達成に向けて好調なすべり出しとなっている。

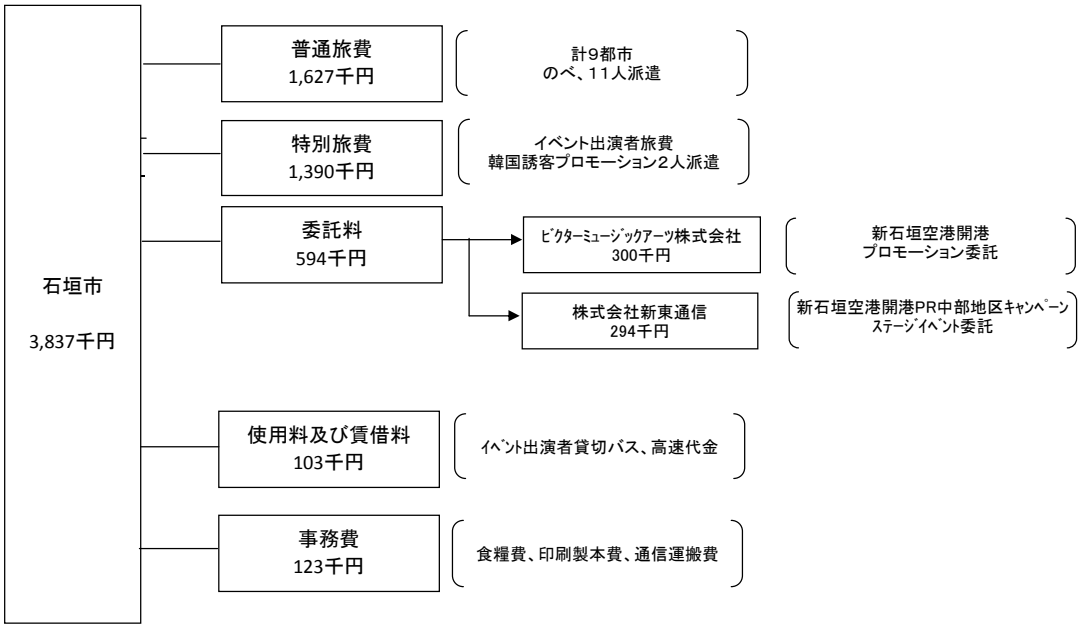
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	誘客活動を展開する中で、開催場所への集客率を高める工夫が必要である。24年度の取組みについては、これまで同様、開催場所周辺における観光パンフレットやチラシのサンプリング等を中心に実施してきたが、イベントの事前告知、イベント内容の充実により更なる集客効果につながるものと考える。	①会場への集客効果を高めるため、物産販売や飲食ブースの充実を図る。そのため、商工関係部署及び地元商工団体（商工会等）と連携したイベント開催を行う。 ②戦略的なプロモーションを展開するため、開催地については直行便が就航する都市等にターゲットを絞り込み、観光物産PR事業を活用した事前PRや旅行動機を促すためのクーポン券配布（宿泊割引、飲食店の割引等）によるインセンティブを与える（※地元企業の協力が不可欠）等の改善が必要である。

今後の取り組み方針

①観光、商工による連携した取組みを図るため、開催場所や時期の決定にあたっては関係者会議を実施し、相互のイベント情報を確認の上可能な限り共同での開催を行う。
②誘客プロモーション実施については、YVB主催により官民共同によるイベント開催となっている。開催費用については、YVB予算及び本事業ともに一括交付金を活用しているため、予算の棲み分けをきちんと行った上で効率的な執行を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,837	3,837	3,069	768	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○直接実施により、必要最小限の予算措置であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－②	スポーツ！ウェルカム！石垣島！事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	企画部　観光交流推進課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	本市ブランド“SPORTS！WELCOME！石垣島！”を立上げスポーツ誘致をすすめる。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,751				
	(b) 予算現額	6,491				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,260				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,491	0			
B. 執行済額		4,754				
うち交付金充当額		3,803				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73.2%				
予算の状況の説明		・不要額が1,737千円発生している。タイミングの不一致、マンパワー不足もあり目標達成に至らなかった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
受入強化整備	目　標	（トレーニング備品）	（　）	（　）	（　）
	実　績	トレーニング備品			
各スポーツ受入のグループブランド化	目　標	（ビジュアルコントロール）	（　）	（　）	（　）
	実　績	ビジュアルコントロール			
プロモーションビデオ制作	目　標	（プロモーションビデオ制作）	（　）	（　）	（　）
	実　績	プロモーションビデオ制作			
WEB制作	目　標	（WEBサイト制作）	（　）	（　）	（　）
	実　績	WEBサイト制作			
達成状況説明	受入強化整備として、プロスポーツキャンプ、学生合宿等にも対応できる総合体育館トレーニング用備品を購入した。プロ野球、サッカーのキャンプなど個別に行われていたスポーツ受入事業をひとつにつなぎ、グループブランド化を図った。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
トレーニング機器の整備	目　標	（－）	（トレーニング備品）	（　）	（　）	（　）
	実　績		トレーニング器具5台購入			
受入強化・グループブランド化	目　標	（－）	（受入強化・グループ化）	（　）	（　）	（　）
	実　績		受入強化・グループ化			
プロモーションビデオ制作	目　標	（－）	（プロモーションビデオ制作）	（　）	（　）	（　）
	実　績		プロモーションビデオ制作			
WEB制作	目　標	（－）	（WEBサイト制作）	（　）	（　）	（　）
	実　績		WEBサイト制作			
進捗状況説明	受入強化整備として、プロスポーツキャンプ、学生合宿等にも対応できる総合体育館トレーニング用備品を購入した。プロ野球、サッカーのキャンプなどバラバラに行われていたスポーツ受入事業をひとつにつなぎ、グループブランド化を図った。					

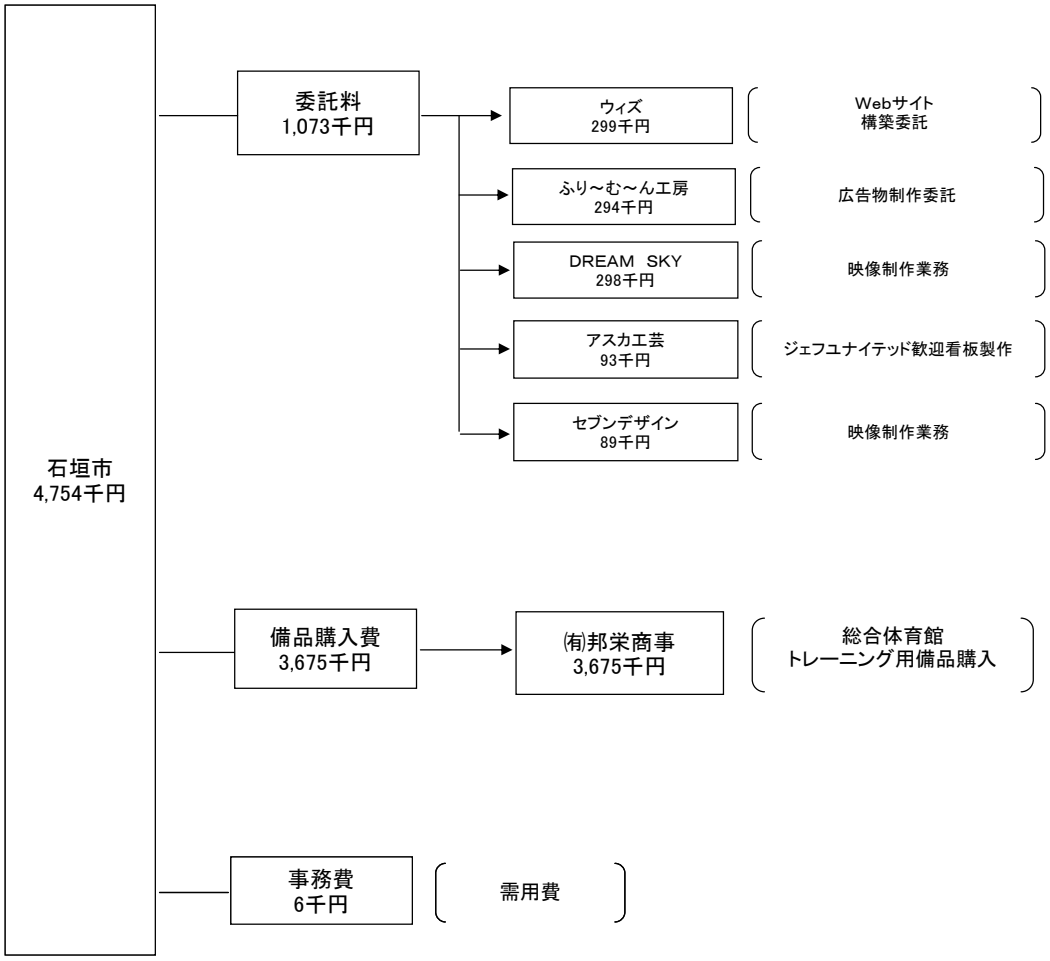
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	タイミングの不一致、マンパワー不足もあり、ターゲットごとの営業が行えなかった。	機構改革を行い、「スポーツ交流課」を新設、スタッフの体制を強化した。

今後の取り組み方針

機構改革を行い、「スポーツ交流課」を新設、スタッフの体制を強化した。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,754	4,754	3,803	951	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－③	石垣島観光物産PR事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	企画部　観光交流推進課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容	新石垣空港開港を中心とした大々的なPRや、ターゲットごとのPRを行い、観光客誘致につなげる。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	25,047				
	(b) 予算現額	25,047				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	25,047	0			
	B. 執行済額	24,519				
	うち交付金充当額	19,614				
	次年度繰越額	0				
	執行率（%）(B/A)	97.9%				
	予算の状況の説明	当初の目標どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
新空港PR	目　標	（　新空港PR　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	新空港PR			
物産PR・ターゲットごとのPR	目　標	（　物産PR・ターゲットごとのPR　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	物産PR・ターゲットごとのPR			

達成状況説明	新空港開港PRプロジェクトでは、島民みんなで踊り出すPV、CMを制作。主要都市の街頭ビジョンなどで広告した。開港日には5000名みんなで踊るイベントを開催した。ターゲットごとの戦略として、島発のウェディングブランドのPRなども行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
新空港PR	目　標	（　－　）	（　新空港PR　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		新空港PR			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	新空港開港PRプロジェクトでは、島民みんなで踊り出すPV、CMを制作。主要都市の街頭ビジョンなどで広告した。開港日には5000名みんなで踊るイベントを開催した。ターゲットごとの戦略として、島発のウェディングブランドのPRなども行った。

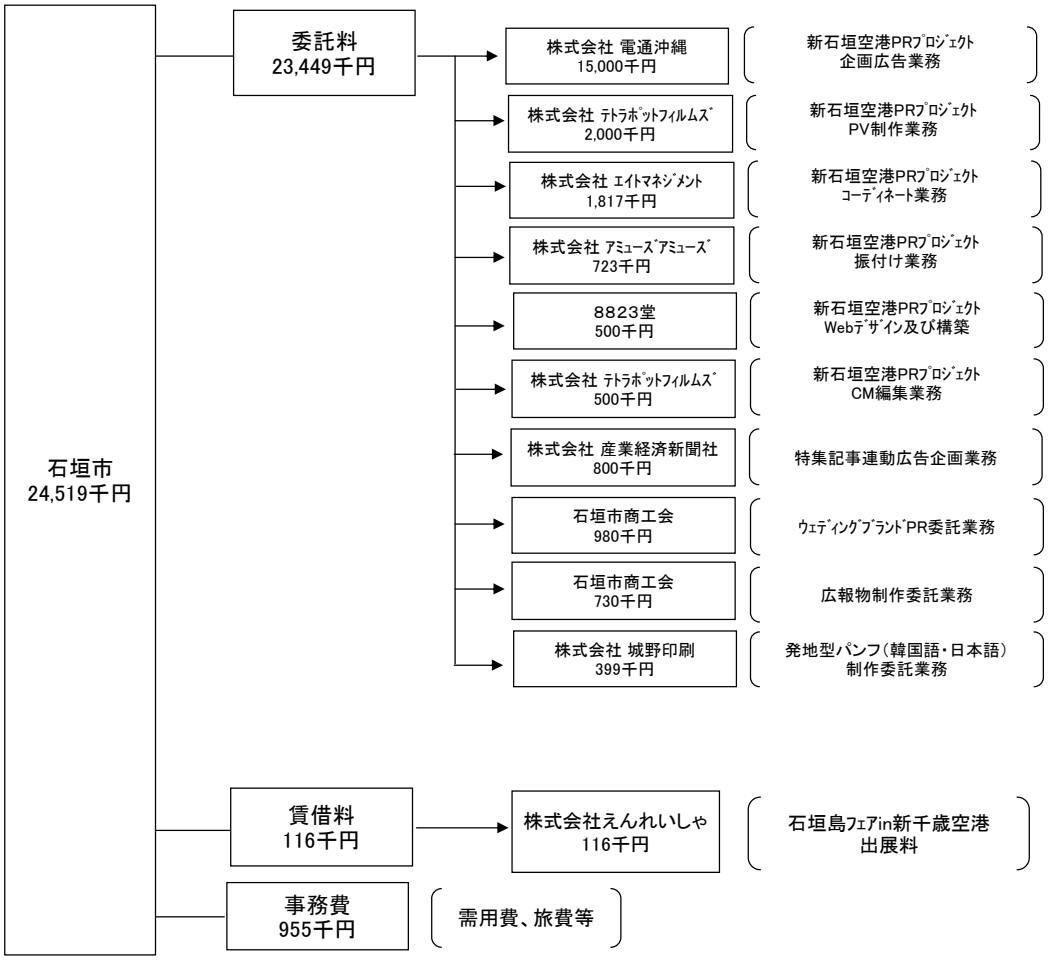
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	新空港開港を控えた重要な年度として、PR発信を行ったが、予算面、マンパワーの面で100%満足のいくPR活動が行えなかった。（事業実施はもちろんのこと、調査報告資料の作成など事務手続きの負担も大きかった） また、本地域の海外に対するPRも十分とは言えない。	人員体制の見直し、ワークシェアなども検討が必要。開港に伴う重要なタイミングであるため、PRは強化する必要がある。（調査報告などの軽減、簡素化も検討願いたい。）

今後の取り組み方針

人員体制の見直し、ワークシェアなども検討が必要。開港に伴う重要なタイミングであるため、PRは強化する必要がある。
（調査報告などの軽減、簡素化も検討願いたい。）

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
24,519	24,519	19,614	4,905	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－④	美ら島情報発信事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	企画部企画政策課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容

石垣市がこれまで、実施してきた先進地事例となる事業や行政情報など、石垣市らしさ、特徴を網羅したパンフレットを作成し、能動的・積極的に全国自治体へ向けて配信し、行政視察や職員研修、コンベンションの誘致を事業目的とする。
また、上記内容に加え、石垣市の豊富な情報をカテゴリ別の動画ページを作成し、さらに石垣島らしさを伝えるツールとして既存のホームページ強化を行う。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,806				
	(b) 予算現額	1,806				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,806	0			
B. 執行済額		1,574				
うち交付金充当額		1,259				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		87.2%				

予算の状況の説明

不用額が232千円発生しているが、通信運搬費で当初予定してたパンフレット送料において、数量と重量が下回ったための残額が主なものであり、当初計画していた事業内容は全て実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
行政視察誘致パンフレットの作成及び送付	目　標	（　1,719自治体　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	1,683自治体			
既存ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞﾘﾆｭｰｱﾙ及び動画ｺﾝﾃﾝﾂの制作	目　標	（ ﾘﾆｭｰｱﾙ及び動画ｺﾝﾃﾝﾂ制作 ）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	ﾘﾆｭｰｱﾙ及び動画ｺﾝﾃﾝﾂ制作			

達成状況説明

石垣市の特徴的な施策事業を掲載した行政視察誘致パンレットを軸に行政視察及び職員研修の積極誘致を図ることができた。パンフレットは紙ベースと電子版を制作し、紙ベースのパンフレットは東日本大震災被災地の自治体(58)を除く全国の自治体(1,683)へ送付した。また、電子版パンフレットを掲載する既存ホームページのユーザビリティーを向上させ、電子版と連動する動画コンテンツを制作した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
誘致パンフレットの作成及び送付	目　標	（　0　）	（ 1,719自治体 ）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1,683自治体			
既存ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞﾘﾆｭｰｱﾙ及び動画ｺﾝﾃﾝﾂの制作	目　標	（　0　）	（ ﾘﾆｭｰｱﾙ及び動画ｺﾝﾃﾝﾂ制 ）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		ﾘﾆｭｰｱﾙ及び動画ｺﾝﾃﾝﾂ制作			

進捗状況説明

パンフレットの送付については、東日本大震災被災自治体を除いたことで、目標値を達成することができなかったが、当初予定してい事業内容は全て実施することができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	行政視察誘致パンフレットの作成において、施策事業及び数値等は平成23年度ベースとしていることから、経年経過すると情報更新が必要となってくる。	行政視察誘致パンフレット作成の主軸となる施策事業のメニュー掲載について、常に最新の施政方針に沿った内容と施策事業の進捗を確認してに更新する必要がある。

今後の取り組み方針

電子版の行政視察誘致パンフレットを毎年度ごとに更新し、常に最新情報を掲載するように取り組む

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,574	1,574	1,259	315	0

- 石垣市 1,574千円
  - 委託料 939千円
    - 8823堂 260千円 ― 行政視察誘致パンフレットのデザインにかかる委託業務
    - 石垣ケーブルテレビ（株） 290千円 ― 行政視察誘致のWEB動画制作にかかる委託業務
    - （合）ティダ・アイランド 299千円 ― 既存ホームページの一部リニューアルにかかる委託業務
    - 8823堂 90千円 ― ホームページリニューアル素材のデザイン制作にかかる委託業務
  - 通信運搬費 236千円
    - 日本郵政（株）沖縄支社 236千円 ― 行政視察誘致パンフレットの送料
  - 事務費 399千円 ― 需用費

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、市内事業者において実績、知識等を勘案したうえで、見積額の最低額となる事業者を選定し、随意契約で締結した。指定する仕様を誠実に履行したことで、妥当であったと考えている。 ・費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑤	八重山博物館所蔵資料修復及び整理･活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－（4）－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	石垣市立八重山博物館	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（2）
事業内容	博物館所蔵資料のうち、状態の良くない古文書、掛軸類などの紙資料の修復事業と、現在八重山博物館が所蔵している資料の整理及び台帳のデータベース化事業				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,337				
	(b) 予算現額	8,337				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	8,337	0			
	B. 執行済額	8,326				
	うち交付金充当額	6,660				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.9%				
予算の状況の説明		当初の目標どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
博物館所蔵資料のうち、状態の良くない古文書、掛軸類などの紙資料の修復事業。	目　標	（古文書修復250点）	（　）	（　）	（　）
	実　績	古文書修復250点			
博物館所蔵資料のうち、状態の良くない古文書、掛軸類などの紙資料の修復事業。	目　標	（軸資料修復2点）	（　）	（　）	（　）
	実　績	軸資料修復2点			
現在、八重山博物館が所蔵している資料の整理及び台帳のデータベース化事業	目　標	（所蔵資料データベース化16,000点）	（　）	（　）	（　）
	実　績	所蔵資料データベース化11,000点			

達成状況説明

博物館資料の修復事業については、平成24年度に予定していた資料の修復を行い、今後の調査･研究等広く活用に供することができる。また、博物館資料の整理及び台帳のデータベース化については、約11,000点の資料のデータベース化を行い、目標の約70%に達している。データベース化により、博物館資料の管理が充実するとともに、館内外の調査･研究等に活用することができる。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
古文書修復率	目　標	（0）	（古文書修復250点）	（　）	（　）	（　）
	実　績		古文書修復250点（100%）			
古文書修復率	目　標	（0）	（軸資料修復2点）	（　）	（　）	（　）
	実　績		軸資料修復2点（100%）			
現在、八重山博物館が所蔵している資料の整理及び台帳のデータベース化率	目　標	（0）	（所蔵資料データベース化16,000点）	（　）	（　）	（　）
	実　績		所蔵資料データベース化11,000点（70%）			

	進捗状況説明	博物館資料の修復事業については、平成24年度に予定していた資料の修復を行い、今後の調査・研究等広く活用に供することができる。また、博物館資料の整理及び台帳のデータベース化については、約11,000点の資料のデータベース化を行い、目標の約70%に達している。データベース化により、博物館資料の管理が充実するとともに、館内外の調査・研究等に活用することができる。

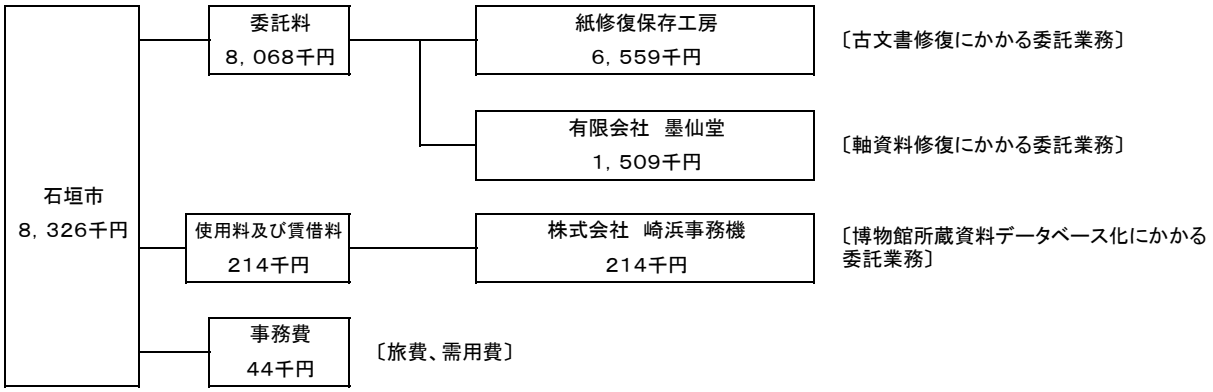
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	博物館資料の中から、劣化の進行が著しい資料を選択し、修復の優先を決定する。	博物館資料のうち修復を要する資料の状態を把握する。資料の修復後は、収蔵状況の改善を図りたい。また、今後の資料の公開活用については、広く活用に供するよう検討を重ねていきたい。

今後の取り組み方針

博物館資料の修復事業については、劣化が進み状態の良くない資料を優先的に修復していきたい。また、博物館資料の整理及び台帳のデータベース化については、データベース化後、公開、活用に向けた取り組みをおこなっていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,326	8,326	6,660	1,666	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	予算の執行は、専門業者への委託をすることで支出先の選定は妥当である。また、予算規模、事業目的に即した執行となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑥	石垣島シネマフェスティバル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－（５）－ウ 文化コンテンツ産業の振興
担当部課名	石垣市教育委員会文化課	事業実施（予定）年度	平成２４～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容

５，１chの立体音響、3Dの映像等と最新のシステムを使って上映会を開催し、視覚的にも、音響的にも劇場ならではの醍醐味を味わう。これまで16ミリ映写機（フィルム）が主流であったが、近年DVD等の映写会が増え、会館利用者からプロジェクターの設置を望む声も多い。当フェスティバルでは、その機器を導入して映画館で鑑賞するのと同じ臨場感を味わい、映画館で見る映画の楽しさを再認識する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,208				
	(b) 予算現額	9,208				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,208	0			
B. 執行済額		9,186				
うち交付金充当額		7,349				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.8%				
予算の状況の説明		・不要額が22千円発生しているが、委託費及び備品購入費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
シネマフェスティバルの開催	目　標	（　8作品の上映　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	8作品上映			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

・映画館の無い当市の市民に劇場で鑑賞する映画の楽しさを体感してもらうと共に映画を通して島の魅力を再認識してもらうため、最新の上映システムを構築し、２日にわたり作品を上映した。
・大ホールでは5，１ch立体音響によるロードショー作品、中ホールでは八重山で撮影された作品、展示ホールでは3D上映システムと5，１ch立体音響を使用した作品を上映した。
・選定作品のレンタル交渉や上映環境の構築に関し専門的知識が不可欠なため、専門業者へ委託を行い対応した。
・今後の舞台公演の演出面においても活用できるよう映写プロジェクターを購入した。
・事業を取り上げてくれたマスコミ及びWeb等の媒体10社の内、島外の媒体6社。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
シネマフェスティバル入場者数	目　標	（　0　）	（　3500人　）	（　　）	（　　）	（　8000人　）
	実　績		3733人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

・今年度は準備期間が1ヵ月と短かった為、予定入場者数に至らなかったが5割近い入場者を確保できた。

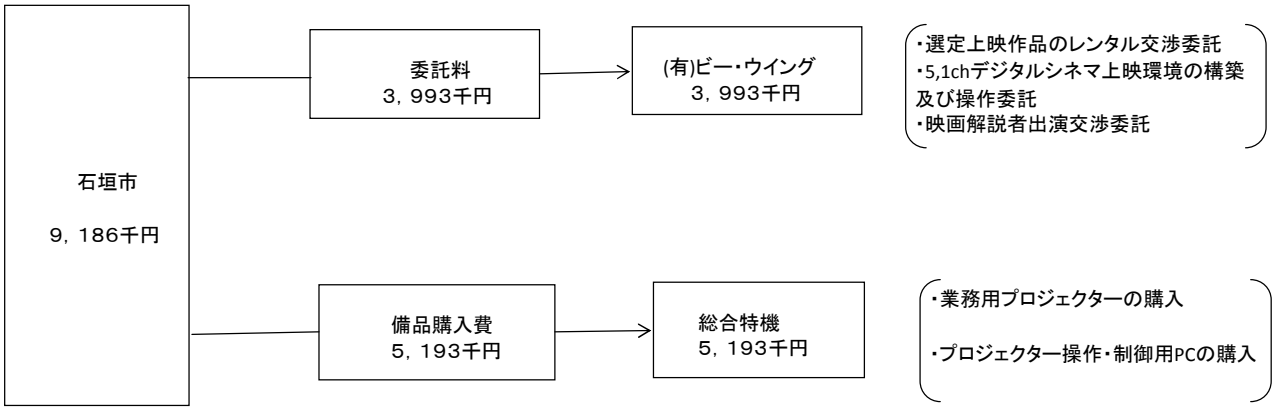
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業実施日を8月に設定したが、本土でのお盆期間による配給会社の休業等の影響により作品収集において通常より時間を要した。 ・準備期間が短く、上映スケジュールの告知等が十分ではなかった。 ・中ホールの観客動員が少なかったことから、観光客を含め多くの人に興味を持っていただけるような話題作りの必要性を感じた。 ・各ホールで上映開始時間がほぼ同時刻だった為、上映が開始されると、次回上映時間まで待たず、会場から離れる人が多く見受けられフェスティバル自体の賑わい感が薄れてしまった。	・事業開催時期に於いて、十分な準備期間や、より充実した作品選定及び収集時間の確保の点から開催時期の見直しを検討する。 ・島の魅力の再認識と観光客等へのアピールの観点から事業自体の賑わい感の演出を検討する。 ・作品に出演した役者や声優、監督などの舞台挨拶やビデオレター上映を検討する。 ・作品選定において、より幅広い年齢層が楽しめるよう考慮する。 ・上映開始時間を検討する。

今後の取り組み方針

・事業開催時期を十分な準備期間がとれ、台風やお盆休業等のリスクが少ない秋口に変更する。
・事業自体の賑わい感や島の魅力の再認識の観点から、島の特産品による飲食コーナの設置や、島で活躍するアーティストによるライブコーナーを設ける。
・上映作品又は新作の宣伝活動の一環として当事業を活用できないか、製作映画会社等と委託業者を通し交渉する。
・上映後アンケートをとり、次年度開催時の検討資料として活用する。
・各ホールでの上映開始時間をずらすなど、希望作品を鑑賞出来なかった人が他の作品に足を運びやすい環境を構築する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,186	9,186	7,349	1,837	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑦	文化財ガイドマップ作成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3－3－(2)－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	教育部　文化財課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	国内外から訪れる観光客等に市所在の指定文化財を分かりやすく周知させるためのガイドマップを日本語、中国語、英語で作成し、本市の文化財の活用を図り、観光振興につなげる。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,980				
	(b) 予算現額	1,980				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,980	0			
B. 執行済額		609				
うち交付金充当額		487				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		30.8%				
予算の状況の説明		不用額が1,371,000円発生しているが、印刷製本費の入札残及び筆耕翻訳料が不要になったためであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ガイドマップ作成：36,000枚	目　標	（　36,000枚　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	36,000枚			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	
	「石垣市文化財ガイドマップ」を日本語版20,000枚・中国語版（繁体字）10,000枚・英語版6,000枚の計36,000枚作成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
ガイドマップ作成：36,000枚	目　標	（　0枚　）	（　36,000枚　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		36,000枚			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	
	「石垣市文化財ガイドマップ」を日本語版20,000枚・中国語版（繁体字）10,000枚・英語版6,000枚の計36,000枚を作成、関係機関へ配布し活用を図った。

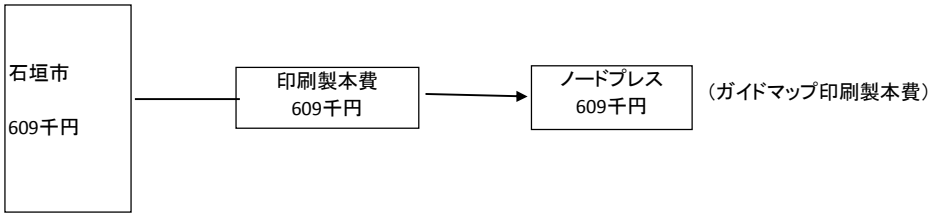
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ガイドマップに掲載する指定文化財の説明文について、専門的な用語は出来るだけ避け、平易な文章構成とした。英語訳、中国語（繁体字）訳についても、ネイティブスピーカーに翻訳を依頼し、理解しやすい内容に留意し作成した。本市では、指定文化財を中心にしたガイドマップはこれまで作成されたことがなく、本事業で作成したガイドマップを活用することにより、国内外からの観光客等に本市の歴史や文化、自然等に対する理解を深めることができる。	ガイドマップの内容について、さらに内容を改善し充実を図る。最大限の活用を図るためにも、配布場所や方法等を検証する。

今後の取り組み方針

今後、文化財指定が増えた場合には、更新をかけていく予定です。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
609	609	487	122	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	印刷製本業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑧	友好･親善観光交流推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－イ 市場特性に対応した誘客活動の展開
担当部課名	企画部　観光交流推進課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容

友好親善関係にある国内5自治体（北海道稚内市、岩手県盛岡市、愛知県犬山市、愛知県岡崎市、徳島県上板町）から参加意向を示した自治体の市民で構成される文化芸能団を石垣市へ招聘し、文化芸能の披露を通じた交流を図るとともに、イベントの事前告知を行い、観光客の誘致を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,000				
	(b) 予算現額	3,000				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,000	0			
B. 執行済額		2,709				
うち交付金充当額		2,167				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		90.3%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市民文化芸能団の招聘	目　標	（市民文化芸能団の招聘）	（　）	（　）	（　）
	実　績	市民文化芸能団を招聘			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：平成24年11月3日～4日に本市で開催された第28回石垣島まつり2012へ、北海道稚内市、岩手県盛岡市、愛知県犬山市、愛知県岡崎市の4自治体より市民芸能団を招聘し、市民大パレードや舞台発表の部において創作舞踊や伝統演舞の披露を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
招聘団体数	目　標	（　）	（4団体）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4団体			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：北海道稚内市、岩手県盛岡市、愛知県犬山市、愛知県岡崎市の4自治体より市民芸能団を招聘した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	目標通り、4自治体より市民芸能団を招聘し、創作舞踊や伝統演舞の披露を行うことができたため、特に留意点はなかったと考える。	今後の市民交流につなげられるよう、所管課等との連携が必要と考える。

今後の取り組み方針

市民交流所管課（市民生活課）への情報提供、石垣市側からの訪問を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,709	2,709	2,167	542	

石垣市 2,709千円 → 委託料 2,709千円 → 石垣市観光協会 2,709千円 〔友好・親善観光交流推進事業に係る委託業務〕

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑨	スポーツ文化交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－（５）－ウ 文化コンテンツ産業の振興
担当部課名	企画部企画政策課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容

青少年の芸能・スポーツ技術の向上を図ることを目的として、郷土芸能や野球、サッカーなどの指導者による技術指導を行いスポーツ文化環境の充実を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,200				
	(b) 予算現額	2,200				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,200	0			
B. 執行済額		1,923				
うち交付金充当額		1,538				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		87.4%				

予算の状況の説明：計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
サッカー大会の開催：1回	目　標	（　80人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	83人			
野球教室の開催：1回	目　標	（　15人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	17人			

達成状況説明：サッカーの交流試合及び野球競技会を開催し、多数の生徒の参加があり、青少年のスポーツ交流、技術指導を行い、スポーツ技術の向上を図った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（平成　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（平成33年度）
サッカー大会の開催：1回 野球教室の開催：1回	目　標	（　0　）	（　95人　）	（　）	（　）	（　100　）
	実　績		100			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：サッカーの交流試合及び野球競技会を開催し、多数の生徒の参加があり、青少年のスポーツ交流、技術指導を行い、スポーツ技術の向上を図った。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	青少年のスポーツ交流を促進するため、夏休みを開催を予定した野球競技会が台風のため、10月に開催が延期された。10月の開催時において、中学生の県大会等の時期が重なったことや受験前等から参加人数が少なかった。	単年度事業ではあるが、次回同様の事業開催時には、学年や開催時期等を考慮し、児童生徒が幅広く参加しやすい環境づくりを整えるなどの改善を講じる必要がある。

今後の取り組み方針

単年度事業

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,923	1,923	1,538	385	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費用項目、使途については、必要な経費を支出時に確認しており、適正なものであったと確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑩	プロ野球キャンプ受入基盤強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　観光交流推進課	事業実施（予定）年度	平成24年度～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容

プロ野球キャンプ期間中における見学者導線の誘導及び飛球対策に係る警備誘導員の配置。キャンプ会場内に総合案所の設置と地域連携企画の実施。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,034				
	(b) 予算現額	5,034				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,034				
B. 執行済額		3,159				
うち交付金充当額		2,527				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		62.8%				

予算の状況の説明

プロ野球のキャンプ期間が当初見込みより短く、警備配置日数が少なくなったこと。プロポーザル方式による総合案内所業務委託費の予定価格設定に係る積算が低く設定できたため。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
プロ野球キャンプ警備員配置	目　標	（安全・円滑性確保）	（　）	（　）	（　）
	実　績	9ヵ所への配置による無事故で円滑な運営			
総合案内所の設置	目　標	（地域連携企画）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4企画			

達成状況説明

16日間のキャンプ期間中、キャンプ会場内の立入禁止エリアの監視、来場者・進入車両の交通誘導、飛球対策を実施できた。また、地域連携企画として、フェイスブックページの開設、石垣島一周スタンプラリー、グルメコンテンスト、ロッテグッズを身につけて特典ゲッツキャンペーンを実施できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
プロ野球キャンプ見学者数	目　標	（17,000人）	（17,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		17,000人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

来場者の見学及び球団のキャンプ会場内の移動において安全性と円滑性を確保できたことは、キャンプ地として信頼度の高い評価を得ることができた。キャンプの継続と野球見学にとどまらないキャンプ会場（地）づくりによる受入基盤の強化を推進していきたい。

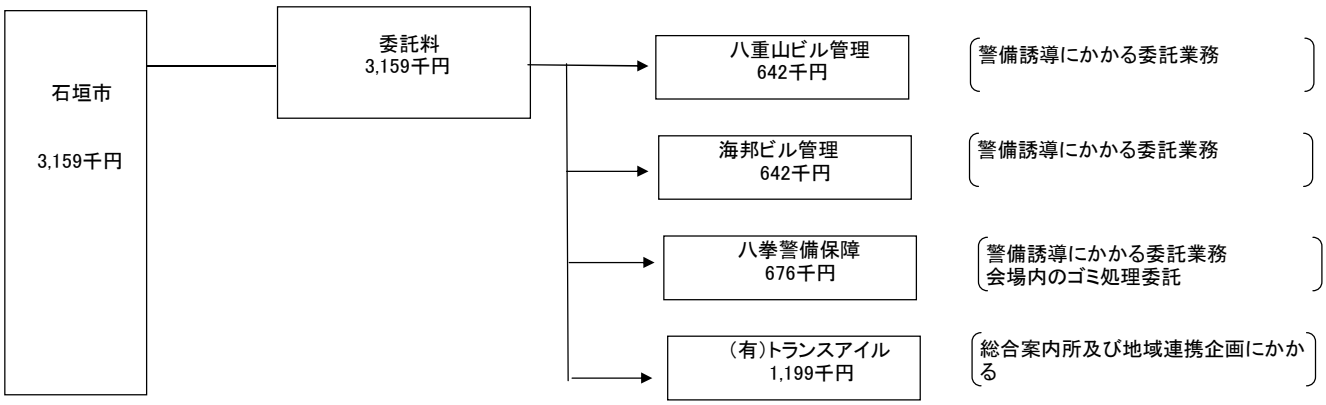
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	総合案内所において、キャンプ会場内のｺﾞﾐ箱の設置、練習メニューの配布数が不足するなどの声が寄せられた。地域連携企画で実施したロッテグッズを身につけて特典ゲッツキャンペーンでの参加店舗アンケートでは、当キャンペーンによる効果はやや効果ありが56.5%だが、あまり効果なしも39.1%と効果の感想に課題を残し、さらに高い集客効果を目指す必要がある。	キャンプ会場内において効果的な人員配置により、さらなる安全性と円滑性の確保を推進する。地域と連携し観光客や市民へキャンプ開催に付随するサービスとコンテンツを提供することで地域の活性化に寄与し、本市ならではのキャンプ地づくり、受入強化を図ることができるものと考える。

今後の取り組み方針

引き続き、警備員の配置と総合案内所の設置を軸に本市ならではと伝わるようなキャンプ地づくりを図りたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,159	3,159	2,527	632	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式により実績、知識、企画力等を勘案して選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑪	サッカーパークあかんま施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3－3－(2)－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部観光交流推進課	事業実施（予定）年度	平成24年～平成33年	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容

平成9年の供用開始以降、多くのプロ・アマのサッカーチームを受け入れておりキャンプ地として人気のあるサッカー場である。施設は経年劣化により防球ネットの劣化が激しくボールが道路に飛び出す危険な状況であるため、選手や通行する運転手の安全を確保しサッカーのキャンプ地として受入基盤を整備することで、観光客等の誘客促進及び青少年の健全育成を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,780				
	(b) 予算現額	3,780				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,780	0			
B. 執行済額		3,024				
うち交付金充当額		2,419				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		80.0%				

予算の状況の説明

入札残があり、執行率は8割となっているが、計画的な予算執行に努め、計画通り整備を実施した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防球ネット設置工事（H=6.75m×L=158m）	目　標	（　設置工事　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	設置工事完了			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

防球ネット設置工事の完成に伴い利用者から安全、安心、快適な施設になったと喜ばれ施設の付加価値が向上した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
防球ネット設置工事（H=6.75m×L=158m）	目　標	（　－　）	（　設置工事　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		設置工事完了			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

防球ネット設置工事の完成に伴い利用者から安全、安心、快適な施設になったと喜ばれ施設の付加価値が向上した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	活動実績及び成果実績について、当初見込みどおりの成果が出ている。	当初計画どおりに設置工事が完了した。

今後の取り組み方針

防球ネット設置工事は完了したため事業の継続はない。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,024	3,024	2,419	605	0

石垣市 3,024千円 → 工事請負費 3,024千円 → (有)丸生重機 3,024千円 → 防球ネット設置工事

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点から必要なものであり、額の確定時おいても支出書類等に関する書類により、確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑫	観光地域検証調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部　観光交流推進課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）
事業内容	観光地としての本地域を検証し、課題提起とその解決に取り組み、観光誘客を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,500				
	(b) 予算現額	2,500				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,500	0			
B. 執行済額		2,500				
うち交付金充当額		2,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
観光従事者へのアンケート・ワークショップ	目　標	（30人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	30人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：新石垣空港開港の大切な時期を控え、市や観光協会、商工会ほか観光関連従事者を対象に、観光地域の構成要素を改めてアンケート調査を行い、地域を診断する。ワークショップを通して、観光地域全体をマネジメントするという観点で、それぞれの機能を可視化し共有することで、地域のさらなる活性化に導いた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
観光従事者へのアンケート・ワークショップ	目　標	（－）	（30人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		30人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：新石垣空港開港の大切な時期を控え、市や観光協会、商工会ほか観光関連従事者を対象に、観光地域の構成要素を改めてアンケート調査を行い、地域を診断する。ワークショップを通して、観光地域全体をマネジメントするという観点で、それぞれの機能を可視化、共有することで、地域のさらなる活性化に導いた。

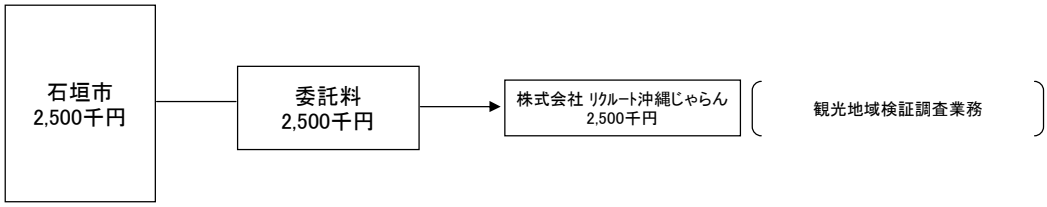
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	調査、分析、ワークショップを通じ、観光地域全体をマネジメントするという観点で、それぞれの機能を可視化、共有することができた。開港年をより強固な体制で迎えることができた。	関係機関を横につなぐ会合やインターネットを活用した連絡体制などが必要。

今後の取り組み方針

関係機関を横につなぐ会合やインターネットを活用した連絡体制などが発足した。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,500	2,500	2,000	500	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1－⑬	農業用ダム湖面利用調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	農林水産部　むらづくり課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容

農業用ダム湖面を利用した、各種水上スポーツのキャンプ地誘致の可能性を調査する。
（農業用ダム湖面利用計画書の策定）
【対象となるダム】
・底原ダム（県管理）
・名蔵ダム（県管理）

実施方法　□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,078				
	(b) 予算現額	5,078				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,078	0			
B. 執行済額		4,778				
うち交付金充当額		3,822				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		94.1%				

予算の状況の説明

・不要額が300千円発生しているが、委託料の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
農業用ダム湖面利用計画書の策定 【対象となるダム】 底原ダム・名蔵ダム	目　標	（利用計画書策定 2ダム）	（　）	（　）	（　）
	実　績	利用計画書策定 4ダム			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

H24活動目標（指標）対象の「底原ダム」・「名蔵ダム」の2ダムに加え、新たに「大浦ダム」・「石垣ダム」の2ダムを追加して調査を行い、農業用ダム湖面利用計画書を策定した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
農業用ダム湖面利用計画書の策定	目　標	（利用計画書策定）	（利用計画書策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		利用計画書策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

今後は、既存施設の活用と新規施設の整備及び相互活用を行うとともに、施設の適正な維持管理体制を図り、ダム湖と周辺地域が一体となった観光資源・交流圏の形成へと展開させていく必要がある。

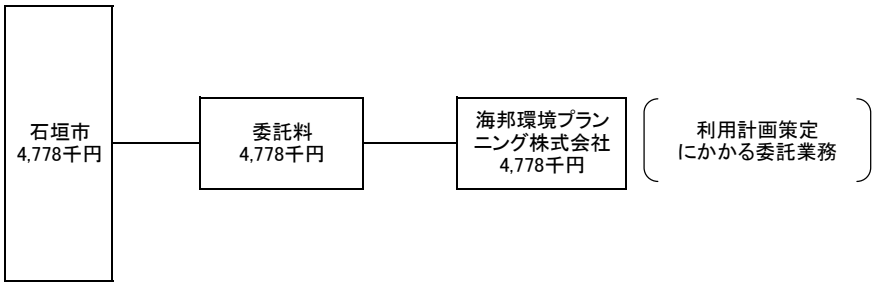
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（ア）本利用計画でダム湖面利用調査を実施、今後の展開としては、施設整備構想設計や施設整備基本設計、各種施設の実施設計及び整備実施、湖面利用施設の活用・維持管理体制の構築が必要。 （イ）本利用計画を基にし、沖縄振興特別推進交付金や他事業メニューによる新規事業採択への取り組みが必要。 （ウ）当初の調査予定である2ダムから4ダムへと拡充したこともあり、見込み以上の成果が出ているものと考える。	（ア）平成25年度予算要求を行っていなので、平成26年度以降は予算要求を行うこととしたい。 （イ）どの事業メニューで取り組むことが良いのか検討を要するが、引き続き沖縄振興特別推進交付金で取り組むことが妥当であると考える。 （ウ）左記のとおり。

今後の取り組み方針

（予定）
平成26年度：施設整備構想設計の策定
平成27年度：施設整備基本設計の策定
平成28年度：各種施設の実施設計
平成29年度以降：施設の整備、湖面利用施設の活用・維持管理体制の構築

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,778	4,778	3,822	956	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式によって選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	①－１４	いしがきの原風景写真等デジタル化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－（４）－ウ 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	教育部市史編集課	事業実施（予定）年度	H24～H28	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容	市史編集事業により収集された写真・ネガフィルム等を新たな観光資源として活用するするため、地域の歴史を視覚的に記録している写真等のデジタル化を行い、HP等で公開する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,308				
	(b) 予算現額	7,140				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 168				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	7,140	0			
	B. 執行済額	7,140				
	うち交付金充当額	5,712				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算（7,308千円）で、入札を実施。入札の結果、7,140千円で事業委託。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
いしがきの原風景写真等デジタル化実施件数：15,000点/年	目　標	（ 15,000 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	15,469			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	目標としていた予定数のデジタル化を実施することが出来た。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（H28年度）
いしがきの原風景写真等デジタル化実施率：20%	目　標	（　）	（ 20 ）	（　）	（　）	（ 100 ）
	実　績		20			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	所蔵写真資料等75,000点のうち、15,469点のデジタル化を完了し、平成24年度の目標を達成できた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	75，000点の所蔵写真資料等のデジタル化を期間5年間で行う事業である。年度後半からの事業開始であったが、初年度予定の15，000点余の資料等のデジタル化を実施でき、事業の推進は概ね妥当であったと思慮する。	75，000点の所蔵写真資料等のうち、初年度予定の15，000点余の資料等のデジタル化を実施でき、事業の推進は概ね妥当であったと思慮する。

今後の取り組み方針

75，000点の写真資料等のうち、残り60，000点の資料についても事業期間中に着実にデジタル化を行い、HP等での公開に向け事業の推進を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,140	7,140	5,712	1,428	0

石垣市 7,140千円 → 委託料 7,140千円 → 株式会社データ・プロ 7,140千円（いしがきの原風景写真等デジタル化事業にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	入札の実施により委託事業者を選定しており、資金の費目・使途についても事業目的に即し、妥当であったと思慮する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－①	美崎町再開発推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－ウ 観光客の受入態勢の整備
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容

美崎町地区は観光客等で賑わう石垣市の繁華街であり、市役所をはじめ様々な公共施設等が立地する中心市街地であるが、飲食店等の雑居ビルが乱立しており景観上及び都市機能上から課題が多く、観光地としての質の低下を招いている。
　また、離島ターミナルが立地し八重山諸島の玄関口として年間約90万人が利用する市民と来訪者が行き交う「みなとまち」として今後も発展が期待されているが、建築物の老朽化や災害への備え等の問題を抱えている。
　本地区が石垣島の中心市街地として更に発展していくためには、海上交通のエントランス機能と中枢都市機能が有機的に融合した将来像の構築が重要となるため、周辺状況の変化や地区の問題を踏まえ、将来のまちづくり計画として「美崎町再開発構想」を策定する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,971				
	(b) 予算現額	4,319				
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 652				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,319	0			
B. 執行済額		4,319				
うち交付金充当額		3,454				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
美崎町再開発構想の策定	目　標	（美崎町再開発構想の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	美崎町再開発構想の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明
- 策定業務委託（平成24年8月締結）
- 検討委員会の開催（4回）
- 先進地視察（福岡県福岡市、同県北九州市、山口県下関市）
- 構想策定（平成25年3月）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
美崎町再開発構想の策定	目　標	（美崎町再開発構想の策定）	（美崎町再開発構想の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績		美崎町再開発構想の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：美崎町再開発構想策定（平成25.3月）

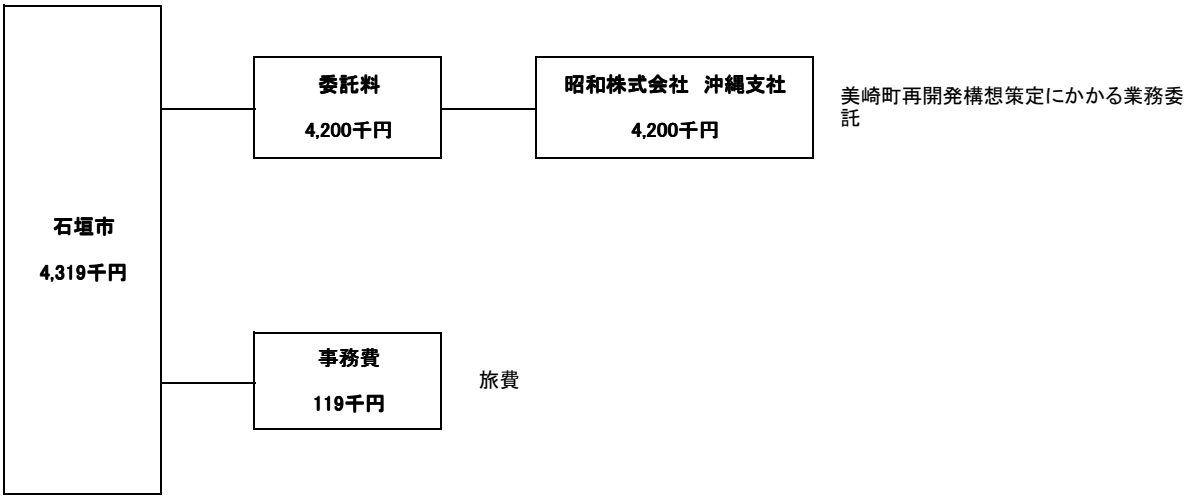
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本市の中心市街地にある美崎町地区における、まちづくりに関する様々な課題に対して、地区の現状や周辺地域の状況を的確に捉えたうえで、地区の活性化や、災害に備えた安心・安全なまちづくり等、あるべき将来構想を策定した。 構想においては、将来ビジョンを「市民と来訪者が“ふれあう”石垣島の中心地」として、石垣市の中心地であること、離島観光の玄関口であることを踏まえ、沖縄らしさ石垣らしさを求めて訪れる人が交流し、中心地としてのにぎわいと暮らしやすさを兼ね備えるとともに、観光地としてのおもてなしのあるまちを目指すとしている。 また、将来ビジョンの実現に向けて、「八重山の都心機能の充実」「“交流”“にぎわい”の創出」「“石垣島に来た、石垣島にいる”を体感」の3つの目標を掲げ今後の美崎町再開発推進において、当構想を基軸に継続的な取り組みを行っていく	構想策定後は、地区自治会等を含めた協議会を設置し、当構想を基軸として美崎町地区の課題及び観光地としての基盤整備に向け協議を継続する。

今後の取り組み方針

1　美崎町再開発構想推進委員会の設置
2　まちづくり人材育成への取り組み
3　再開発事業学習会の開催

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,319	4,319	3,454	865	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なもののみに限定し、額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－④	クルーズ船寄港誘致支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－イ 誘客活動の展開
担当部課名	石垣市港湾課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	大型クルーズ船寄港誘致のための外国語パンフレット（4カ国語）の作成及び、寄港時の大型タグボート経費の一部支援を行いクルーズ船社の負担軽減により誘致を図り、観光振興に繋げる				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　■負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	14,230				
	(b) 予算現額	14,230				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	―				
	A. 計 (b+d)	14,230	0			
B. 執行済額		4,761				
うち交付金充当額		3,809				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		33.5%				
予算の状況の説明		不要額が、9,514千円発生しているが、内、委託料が2,169千円、負担金が7,300千円となっている 委託料については、当初予定していた業務はすべて実施し、その残額となる 負担金につては、当初寄港予定回数が、7回から3回へ変更になり、不用となった				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
パンフレット作成	目　標	（　4カ国語　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4カ国語			
タグボート支援	目　標	（　2回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3回			
達成状況説明	ポートセールス用のパンフレット（4カ国語）の作成を行った 大型クルーズ船寄港時に必要となる、大型タグボート用船料の支援を行った				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
パンフレット作成	目　標	（　）	（　4カ国語　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4カ国語			
タグボート支援	目　標	（　）	（　2回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3回			
進捗状況説明	ポートセールス用のパンフレット（4カ国語）の作成を行った 大型クルーズ船寄港時に必要となる、大型タグボート傭船料の支援を行った					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	クルーズ船社からの寄港打診を元に予定回数を設定しているが、船社の都合、天候、岸壁の調整等により予定回数の変更があり得る	寄港の判断は、予定日の直前で決定される事もあり、寄港予定回数を正確に予想する事は不可能

今後の取り組み方針

船社より打診があった場合、聞き取り及び旅程表等から情報を収集し、より正確な回数を設定する

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,961	4,761	3,809	952	3,200

石垣市
4,761千円

→ 委託料
1,561千円
→ (株)城野印刷所
1,561千円
→ クルーズ船寄港誘致支援事業
に係る委託業務
「パンフレット作成」

→ 負担金
3,200千円
→ 商船三井船客（株）
2,100千円
日本クルーズ客船(株)
1,100千円
→ 観光客の安全・安心事業
に係る請負工事
「タグボート傭船料負担金」6,200千円
（交付対象外経費3,200千円）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	パンフレット作成 ○委託事業者の選定は、石垣市観光交流推進課ほか、観光協会等で実績が有り、石垣島への知識も勘案し選定を行っており妥当であると考える ○事業費規模・事業目的について、成果品・報告書にて確認した結果、目的については適正であったが、事業費は構成費について過大であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－⑤	観光客の安全・安心事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－ウ 観光客の受入態勢の整備
担当部課名	石垣市港湾課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）
事業内容	防犯カメラを設置する事により、盗難被害を抑制・防止し、観光客が安心・安全に利用できる施設の防犯体制を確立し、地域・離島の観光振興を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
	(b) 予算現額	5,000				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,000	0			
B. 執行済額		5,000				
うち交付金充当額		4,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の目標どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防犯カメラの設置	目　標	（防犯カメラ設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績	防犯カメラ設置			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	石垣港離島ターミナルへ、防犯カメラを10台設置。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
防犯カメラの設置	目　標	（　）	（防犯カメラ10台設置）	（　）	（　）	（　）
	実　績		防犯カメラ10台設置			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	石垣港離島ターミナルへ、防犯カメラを10台設置。					

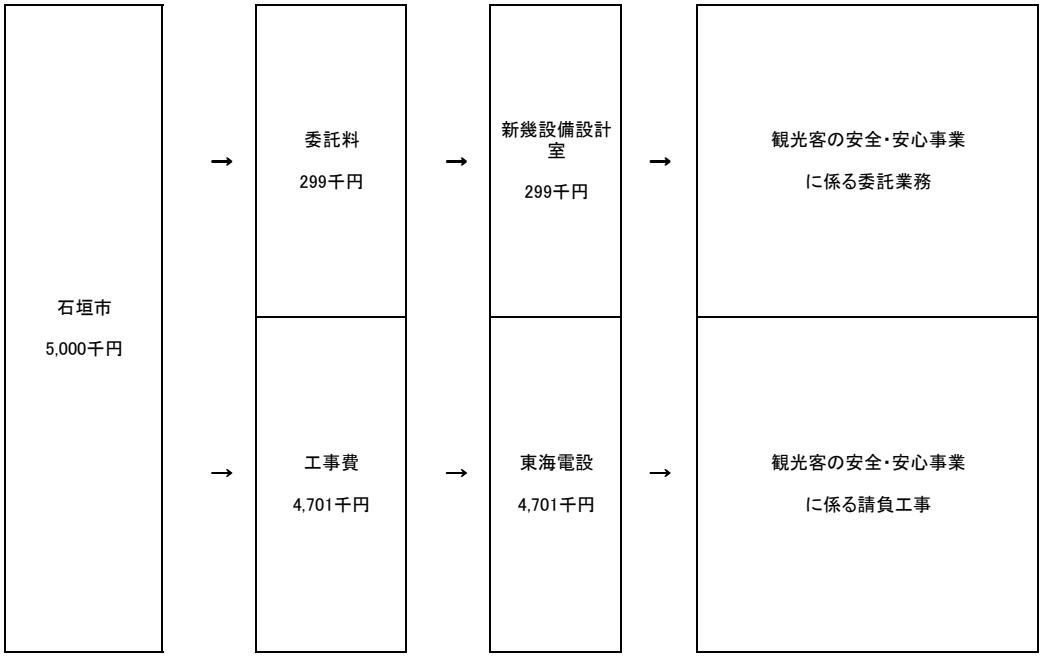
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	予定していた、防犯カメラ設置工事を実施	監視体制の強化 ・一般客の利用する他施設の監視 ・監視基地の増設（重複化）

今後の取り組み方針

設置した防犯カメラを活用し、防犯体制・被害抑止に反映させる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,000	5,000	4,000	1,000	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者及び工事請負業者の選定は、石垣市が指定する事業者であり、過去の実績・知識等を勘案し選定を行い妥当であると考える ○事業費規模・事業目的についても事業成果報告書にて確認した結果、適正であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑪	スポーツイベントによる地域活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－２－（１）－イ スポーツアイランド沖縄の形成
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（１）

事業内容

世界で通用するスポーツのトップレベル選手の育成につなげるため、本県で競技人口の多い野球、サッカー、バスケット等のプロやアマチュアスポーツの公式戦を開催する。また、各チームのファン増をターゲットとした観光誘客を展開する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,000				
	(b) 予算現額	5,000				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,000	0			
B. 執行済額		5,000				
うち交付金充当額		4,000				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：当初の目標どおり執行することができた。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
六大学野球の早稲田大学と慶應大学の野球戦の開催	目　標	（　開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	開催			
プロバスケットボールbjリーグの開催	目　標	（　開催　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	開催			

達成状況説明：離島では開催のハードルが高い2つのスポーツイベントの開催を実現できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
早慶戦入場者数 bjリーグ入場者数	目　標	（　0　）	（1,500人 5,000人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1,500人 5,000人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：早慶野球戦においては、島外からのツアー商品の造成も実現して、OB及びファン層の誘客を展開できた。また、各校の応援部の招聘を行うことで、地域の中学生との技術交流にもつなげることができた。招聘した学生が今後リピーターとして再来島することも期待できる。PJリーグの開催においては、2日間の開催で島外から1，400名の来場者（島外販売チケット）が報告され、観戦プラス1泊の観光促進を図る応援ツアーも実施された。

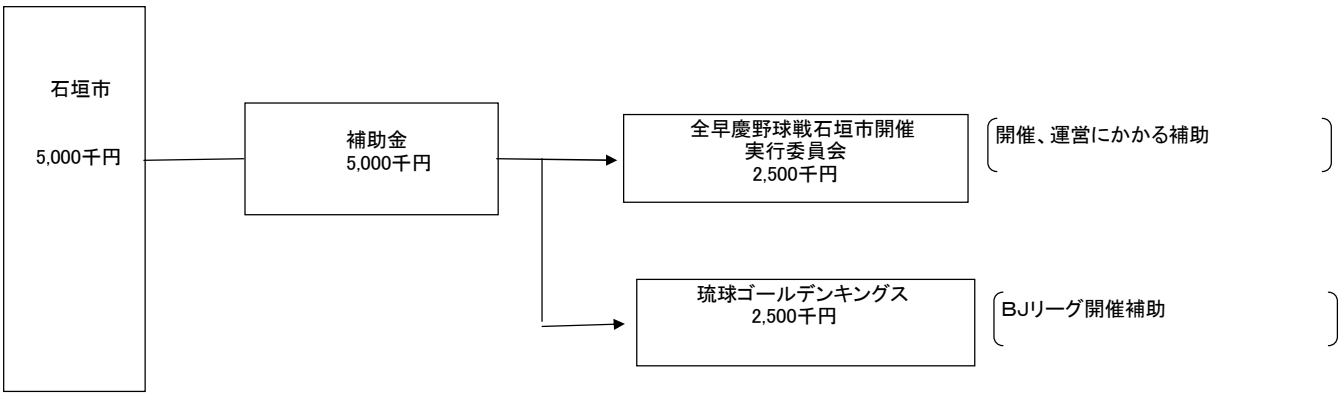
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	単年度事業であるが、次の検証ができたことは今後のスポーツイベントを活用した観光誘客の推進につなげることができる。 ・本市の観光形態は、自然景勝地を周遊したり、海水浴やマリンレジャーを体験することが観光資源であり魅力となるが、新たな観光誘客資源としてのスポーツイベントは観戦と観光を組み合わせた旅行商品になると実証できた。 ・開港とLCCの就航により、島外からのアクセスが費用的にも身近になることから、スポーツイベントの開催により、そのイベントが持つ本来の誘客力に、これまでは、遠い日本最南端の地という地理的な印象を強みに変えて観光も付加することで新たな顧客層に訴求する効果が見込める。 ・スポーツイベントを開催することで、来場する当該イベントのファン層に開催地としての本市に愛着を持って頂くことで、再来訪してもらったりするなどイベントが媒体となって本市の評価向上につながる。	スポーツイベントによる観光誘客を推進するうえで、島外への広報が課題となる。旅行商品造成に伴う集客PRの手法は引き続き検証及び改善の必要がある。また、市内の観光事業者がスポーツイベントの開催をビジネスの機会として活用できる仕組みづくりも重要である。

今後の取り組み方針

国際的な沖縄ブランドの確立には、本市はじめ八重山の離島が担う役割は大きいと考える。自然環境を最大の観光資源とする一方、スポーツイベントはじめ様々な観光誘客資源を付加することで、離島の魅力を活かして賑わいと発信力のある観光施策に取り組みたい。また、市民もスポーツイベント等の観光誘客資源が行われることで、観光地としての意識を高め、そのことが”住んでよし、訪れてよし”の観光地形成に反映されるよう図りたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,831	5,000	4,000	1,000	12,831



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	スポーツイベントの主催団体への妥当な予算補助で事業を達成できた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２-⑫	観光施設及びキャンプ場誘客整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	企画部観光交流推進課	事業実施（予定）年度	平成24年～平成33年	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）
事業内容	多くの観光客が観光施設等を利用するが施設の経年劣化が激しいため早急に改修整備を行う。観光客を迎えるための施設に花などの緑化整備と魅力ある施設整備を行う。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,200				
	(b) 予算現額	3,200				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,200	0			
B. 執行済額		3,200				
うち交付金充当額		2,559				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の目標どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
①玉取崎展望台屋根改修、②唐人墓トイレ屋根改修、③伊野田キャンプ場トイレ屋根改修	目　標	（　改修工事　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	改修工事			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	観光施設の玉取崎展望台屋根、唐人墓トイレ屋根、伊野田キャンプ場トイレ屋根を改修しリニューアルを行った。リニューアルできたことで、観光施設に訪れた観光客等の満足度の向上につながった。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
①玉取崎展望台屋根改修、②唐人墓トイレ屋根改修、③伊野田キャンプ場トイレ屋根改修	目　標	（　－　）	（　改修工事　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		改修工事			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	観光施設の玉取崎展望台屋根、唐人墓トイレ屋根、伊野田キャンプ場トイレ屋根を改修しリニューアルを行った。リニューアルできたことで、観光施設に訪れた観光客等の満足度の向上につながった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	活動実績及び成果実績について、当初見込みどおりの成果が出ている。	当初計画どおりに設置工事が完了した。

今後の取り組み方針

観光施設の屋根を改修しリニューアルできたことから観光客からもきれいになったと喜ばれている。今後も観光施設全体のリニューアルを行い観光客や利用者の満足度向上につながる施設を整備する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,200	3,200	2,559	641	0

石垣市 3,200千円 ― 工事請負費 3,200千円 ― 南星建設 3,200千円 ― 観光施設屋根改修工事

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目的達成の観点から必要なものであり、額の確定時おいても支出書類等に関する書類により、確認、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2－⑬	美ら島アクアマリン整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（１２）－ア 観光リゾート産業の振興
担当部課名	企画部企画政策課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）

事業内容

八重山の各島々と日本やアジアを結ぶ空港において、観光客に南国らしさを直感的に感じてもらうため、亜熱帯性特有の魚が泳ぐ水槽を設置し、八重山観光への期待感と魅力向上を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	20,000				
	(b) 予算現額	20,000				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	―				
	A. 計 (b+d)	20,000	0			
B. 執行済額		11,937				
うち交付金充当額		9,549				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		59.7%				
予算の状況の説明		不要額が8,063千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業はすべて実施済みである。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
水槽設置	目　標	（　水槽設置　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	水槽設置			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：新石垣空港ターミナルビル到着ロビー前に直径約2.4m×高さ約2.5mの円筒形水槽を設置し、南国らしさの創出を図った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（平成22年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（平成33年度）
水槽設置1台	目　標	（　―　）	（水槽1台）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		水槽1台			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：新石垣空港ターミナルビル到着ロビー前に直径約2.4m×高さ約2.5mの円筒形水槽を設置し、南国らしさの創出を図った。

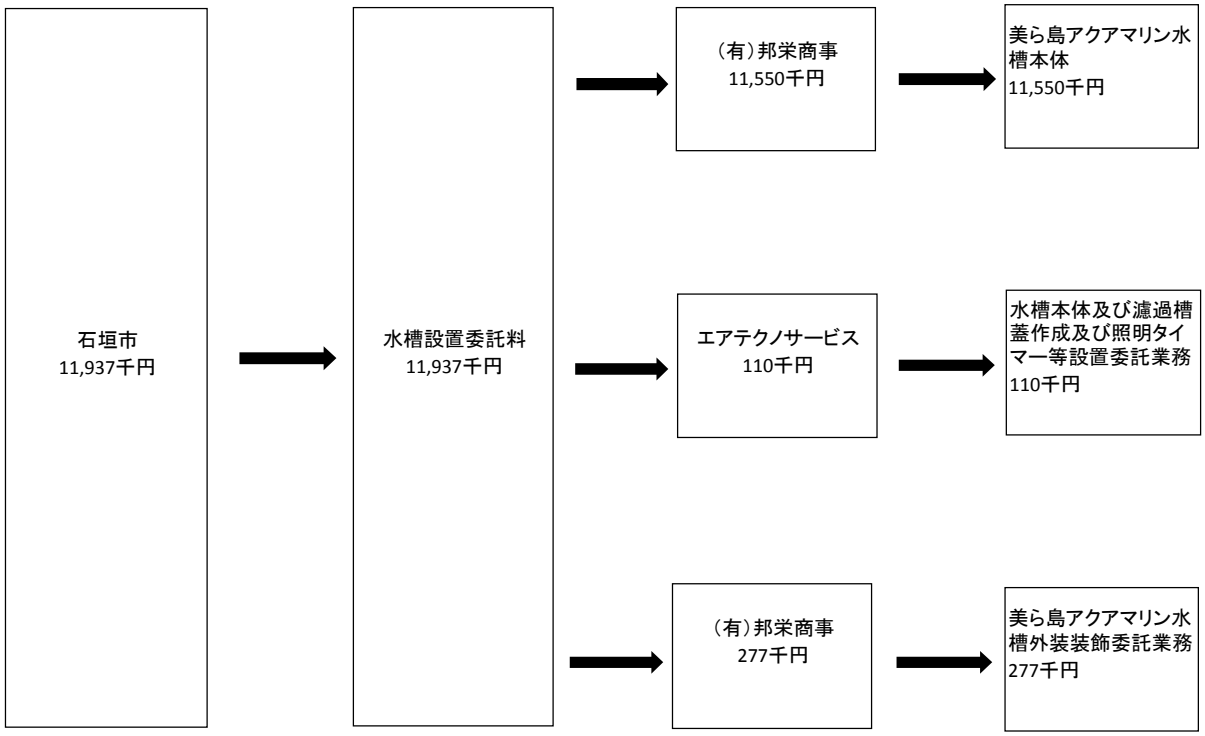
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	予定していた場所に水槽を設置作業を実施	水槽の維持管理や生育生態等についても考慮し、仕様を検証することで、より良い見せ方ができるのではないかと考える。

今後の取り組み方針

美ら島アクアマリン水槽を活用し、南国、石垣島のPRに役立て、入域観光客数の増加につなげる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,937	11,937	9,549	2,388	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は、世界的シェアを誇るアクリルパネル製造業者から製品を仕入れており、実績等を勘案したうえでも、妥当と考える。○事業内容・費用の使途等については、事業に必要なものに限定されており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－⑱	観光地アクセス道路安全安心推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（２）－ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）
事業内容	本市の観光スポットである、コバルトブルーの海や市街地の全景及び夜景、周辺離島を眺望できる「エメラルドの海をみる展望台」へアクセスする路線の整備するため。				
実施方法	□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,800				
	(b) 予算現額	5,800				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	―				
	A. 計 (b+d)	5,800	0			
B. 執行済額		5,800				
うち交付金充当額		4,639				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明

・不要額が千円発生しているが、委託費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
（定量的指標の場合） 測量設計の実施（1カ所）	目　標	（　1箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

本市の観光スポットである、コバルトブルーの海や市街地の全景及び夜景、周辺離島を眺望できる「エメラルドの海をみる展望台」へアクセスする路線の整備するため、設計、土質調査の委託を実施し達成した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
測量設計の実施	目　標	（　）	（　1箇所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

本市の観光スポットである、コバルトブルーの海や市街地の全景及び夜景、周辺離島を眺望できる「エメラルドの海をみる展望台」へアクセスする路線の整備するため、設計、土質調査の委託を実施した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	当初計画していた測量設計及び土質調査の委託を実施したので次年度に工事着手したいと思います。	工事に際し、梅雨時期等を極力さけて執行したい。

今後の取り組み方針
H25年度アクセス道路の防災対策工事の実施。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,800	5,800	4,639	1,161	

石垣市
5,800千円
→ 委託費 5,800千円
→ 有限会社　八島企画 5,800千円
（アクセス道路にかかるUHF線測量設計業務委託）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者について指名競争入札上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③	花木再生プロジェクト事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－（１）－ウ
					自然環境の再生
担当部課名	農林水産部農政経済課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)

事業内容	デイゴヒメコバチの防除のため、防除樹幹注入を実施する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	16,991				
	(b) 予算現額	16,800				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 191				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	16,800	0			
B. 執行済額		16,800				
うち交付金充当額		13,440				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		委託費の見積価格の残				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
病害虫防除対策を実施したデイゴの樹幹注入	目　標	（400本）	（　）	（　）	（　）
	実　績	400本			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	被害を受けた防除対象樹木の開花と保全のため、樹幹注入を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（24年度）
病害虫防除対策を実施したデイゴの樹幹数：400本	目　標	（　）	（400本）	（　）	（　）	（400本）
	実　績		400本			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	被害を受けた防除対象樹木の開花と保全のため、400本の樹幹注入を実施した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	開花と保全を達成するには、被害樹木の防除樹幹注入時期により影響がある。	新葉が活発化する5月から8月の期間に実施することが望ましい。

今後の取り組み方針

デイゴヒメコバチの防除のため、防除樹幹注入を今後も継続実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,800	16,800	13,440	3,360	

石垣市 → 委託料 16,800千円 → NPO花と緑の石垣島 16,800千円　（防除樹幹注入にかかる委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は随意契約で締結し、これまでに島内全域の被害調査等により現場状況を詳細に熟知しており、実績があるため妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－⑤	沖縄らしい風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3－1－(6)－ア 沖縄らしい風景づくり
担当部課名	建設部　都市建設課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

石垣市の観光資源である沖縄・石垣らしさの景観保全・創出のため、景観法、都市計画法に基づく景観地区の将来像実現にむけ、一体的実施が必要な関連社会資本整備事業を計画的、効果的に実施・促進するための計画を地区住民との協働により策定し、景観形成の向上を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,395				
	(b) 予算現額	9,492				
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 903				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,492	0			
B. 執行済額		9,492				
うち交付金充当額		7,593				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明						

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
景観形成向上行動計画の策定	目　標	（景観形成向上行動計画の策定）	（　）	（　）	（　）
	実　績	景観形成向上行動計画の策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

・策定業務委託（平成24年9月締結）
・地域住民ワークショップの開催（各地区1回、計5回）、庁内ワークショップ（2回）、景観地区代表住民ワークショップ（1回）
・計画策定（平成25年3月）

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
景観形成向上行動計画の策定	目　標	（景観形成向上行動計画の策）	（景観形成向上行動計画の策）	（　）	（　）	（　）
	実　績		景観形成向上行動計画の策定			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

景観形成向上行動計画の策定（平成25年3月）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	景観法に基づく「石垣市風景計画」の内容をより一層推進するため、「石垣市景観形成向上行動計画」を策定した。対象となる地域は、本市における景観形成重点地区といえる景観地区（「観音堂地区」、「川平地域」、「獅子森地区」の3地区）となっている。 行動計画策定にあたって、それぞれの景観地区の特性や課題にきめ細かに対応すべく事務局と住民とのワークショップを地区ごとに開催した。その中で様々な意見が出ており、地域が抱える景観上の課題点が明確になった。 課題に対して住民ニーズと改善点及び実現可能性等を勘案し、具体的取組みを検討した。取組み内容として、景観に配慮した道路舗装や街灯整備、無電柱化等のハード事業及び緑化技術講習会の開催、赤瓦等助成、景観重要樹木指定等のソフト事業が挙げられ、各取組みスケジュール及び概算事業費の算出も行った。	各取組みに係る事業費の財源確保が最大の課題となると思われることから、行政間の情報共有を進め多様な事業に対応するため、庁内ワークショップを開催するほか、住民ニーズの変化に対応するため、地区住民とのワークショップも継続的に開催し、事業の優先順位等を検討する。 また、景観地区を対象としている本事業の成果を本市全体に反映させるため、石垣市風景計画改定時にフィードバックを図っていく。

今後の取り組み方針

平成25年度より、行政と地域住民、事業者等が官民一体となって計画に取り組む必要があることから、石垣市景観形成協議会を設立・開催するほか、景観地区住民とのワークショップや庁内ワークショップを開催し、行動計画の具体化を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,492	9,492	7,593	1,899	

石垣市 9,492千円 → 委託料 9,492千円 → 株式会社 国建 9,492千円

石垣市景観形成向上行動計画策定にかかる業務委託

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なもののみに限定し、額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑦	自然エネルギー促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－(３)－イ クリーンエネルギーの推進
担当部課名	水道部　施設課	事業実施（予定）年度	Ｈ２４～Ｈ２６	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１１－３

事業内容

自然エネルギーを利用し、水道事業で消費する電力による二酸化炭素の削減を図るため、水道施設を利用した小水力発電や太陽光発電施設整備が可能か、 またその施設運用が経営的に可能かを調査する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,000				
	(b) 予算現額	3,619				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,381				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,619	0			
B. 執行済額		3,619				
うち交付金充当額		2,895				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		委託設計額と落札額の差及び視察研修旅費の精算減額による。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
自然エネルギーを利用し、二酸化炭素の削減を図ると共に、需要者の負担軽減を図るため調査研究を行った。	目　標	（　調査研究　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	調査研究			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

・入札により、水道施設を利用した小水力発電、太陽光発電事業の可能性調査を行った。
・平成23年4月より小水力発電を運転開始している福岡市水道局瑞梅寺浄水場へ職員を派遣し研修を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
自然エネルギーを利用し、二酸化炭素の削減を図ると共に、需要者の負担軽減を図るため継続研究を行う。	目　標	（　　）	（　調査研究　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		調査研究			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

・水利権、施設利用所等、問題の課題について引き続き調査研究を行い決定する。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	小水力発電事業 （ア）自然環境への負担は軽減できるが、建設費用、維持管理費用が高く、売電による収入での事業化は困難。 太陽光発電事業 （ア）事業化への検討を電力会社と協議し、設置場所や電力量等を調整し、次年度への事業化を目指す。	小水力発電事業 （ア）自然環境への負担軽減効果について再検討し費用対効果を検証する。

今後の取り組み方針

自然エネルギーを利用し、水道事業で消費する電力による二酸化炭素の削減を図るため、水道施設を利用した小水力発電や太陽光発電施設整備が可能かを調査し検討を行ってきた。今後は、水利権に関する河川管理者との協議、売電に関する電力会社との協議、費用対効果を検討し事業化を目指す。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,619	3,619	2,895	724	

自然エネルギー促進事業
3,619千円

- **委託費 3,465千円** → **（株）日水コン 3,465千円**
  - ・事業化可能性調査業務委託
  - ・環境調査
- **委託費 154千円** → **旅費（視察研修） 154千円**
  - ・福岡水道局　瑞梅寺浄水場
    小水力発電施設視察研修

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○入札の結果、落札した事業者は水道技術者の資格を有した企業であり、企業組織、実績、知識等において妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに絞れている。 ○額の確定時において支出等に関する書類により確認出来、適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3－⑧	オニヒトデ駆除・サンゴ保全事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(1)－ア
					生物多様性の保全
担当部課名	市民保健部　環境課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

八重山海域の豊かな漁場及び観光資源としての、サンゴ礁を保全するために、サンゴを食し大量発生しているオニヒトデの駆除を効果的、効率的に行う。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	38,120				
	(b) 予算現額	38,120				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	38,120	0			
B. 執行済額		37,486				
うち交付金充当額		29,989				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.3%				

予算の状況の説明：計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
12月～3月の期間、月15日程度のダイビングによるオニヒトデ駆除	目　標	（60,000匹）	（　）	（　）	（　）
	実　績	44,534匹			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：ダイビング業者、3団体によるオニヒトデ駆除を行い、石西礁湖・名蔵湾海域を中心に実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
12月～3月の期間、月15日程度のダイビングによるオニヒトデ駆除	目　標	（　）	（60,000匹）	（　）	（　）	（　）
	実　績		44,534匹			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：オニヒトデ駆除実施により、生息数は減少傾向になり、それに伴いサンゴ礁の回復もみられる。

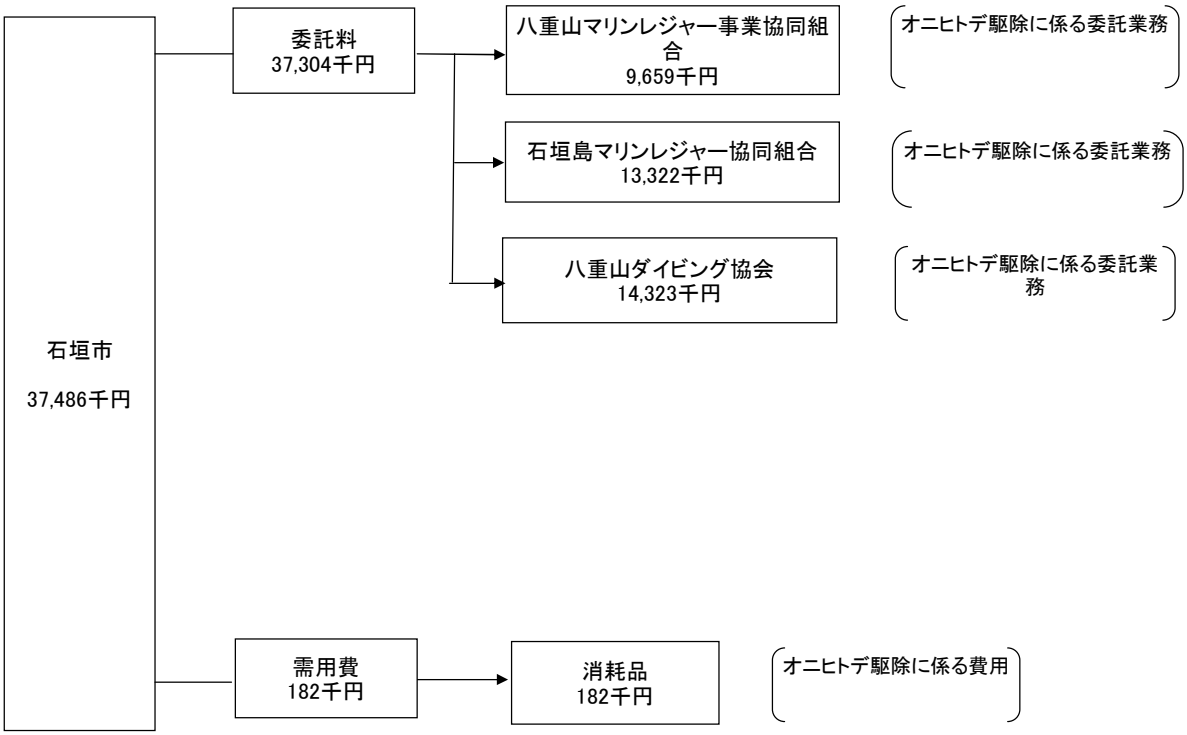
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	気候の変化に伴う、冬場の北風の強い駆除ポイント（石西礁湖北斜面）でのダイビングは厳しい。	石垣市で実施する駆除ポイントと、環境省で実施する駆除ポイントの、事前調整。 環境省側で冬場到来以前の駆除の実施。

今後の取り組み方針

オニヒトデの生息数は各ポイントによって誤差があり、今後、生息数の多いポイントを優先に駆除を実施する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
37,486	37,486	29,989	7,497	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	実績のあるダイビング業者に委託することにより、効率的な作業実施が図られた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－⑨	ラムサール条約湿地登録「名蔵アンパルガイド」冊子作成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(1)－オ 県民参画と環境教育の推進
担当部課名	市民保健部　環境課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

ラムサール条約登録湿地である名蔵アンパルをフィールドとして、現地の動植物や歴史・文化を詳細に紹介したガイドブックを制作する。市民が活用しやすいようなガイドブック制作に配慮する。ガイドブックの印刷部数は5，000冊。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　■負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,979				
	(b) 予算現額	2,351				
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 2,628				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,351	0			
B. 執行済額		2,351				
うち交付金充当額		1,880				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明

不要額が2,628（千円）あるが、冊子編集委託料に係る編集作業について冊子制作委員会内にて実施したこと、印刷製本費の入札執行残等によるものである。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
名蔵アンパルガイド制作部数：5,000部	目　標	（　5,000部　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	5,000部			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

冊子の掲載項目について制作委員会で検討。各分野における専門家に対し掲載原稿の執筆と写真等資料の提供を依頼。集めた資料を委員会で選定及び編集。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
名蔵アンパルガイド制作部数：5,000部	目　標	（　0　）	（　5,000部　）	（　　）	（　　）	（　平成24年度）
	実　績		5,000部			
【参考指標】市民の利用冊数	目　標	（　0　）	（　5,000部　）	（　　）	（　　）	（　H25年以降）
	実　績		5,000部			

進捗状況説明

完成した冊子は市内の各教育機関や関係機関等に配布。

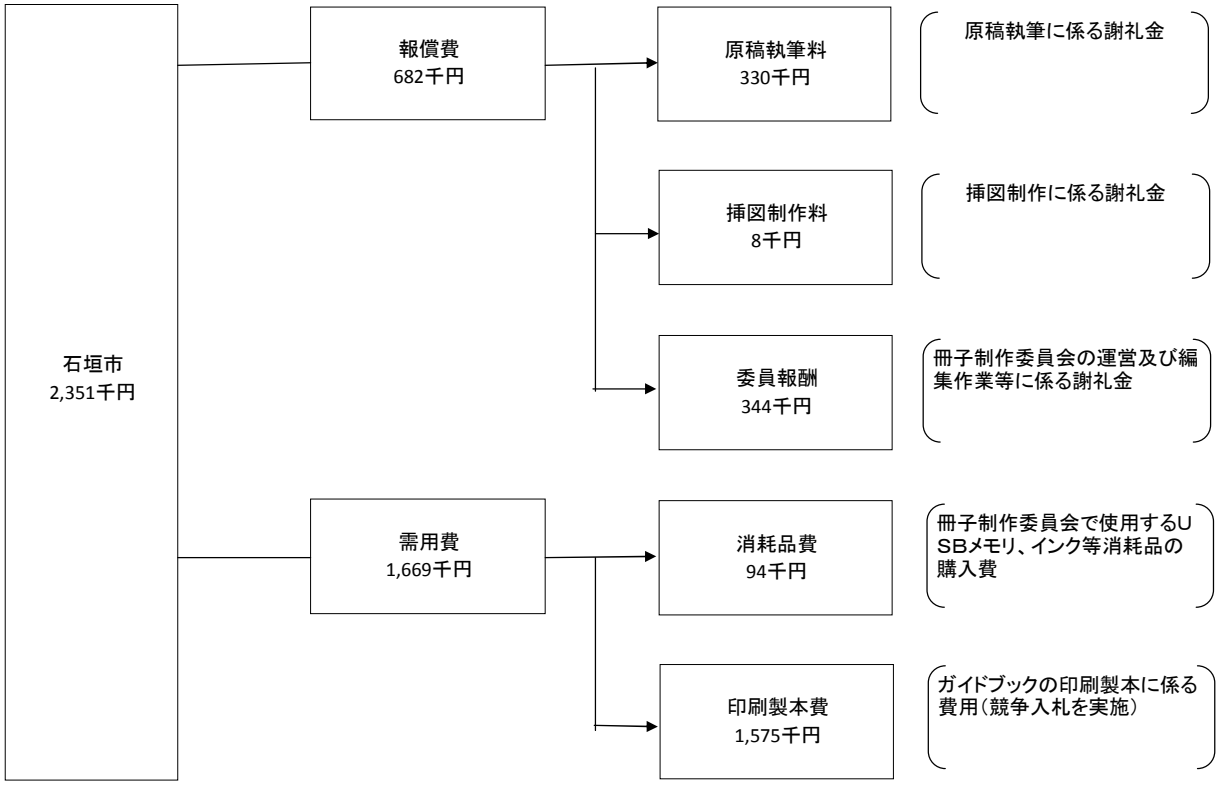
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○名蔵アンパルについて、専門研究機関の最新調査情報等の更新。 ○冊子のボリュームが多いため、予算上印刷部数が限られる。	○ホームページ等を活用して、情報を更新できるような仕組みをつくる。 ○限られた部数をより有効活用できるように、関係機関と調整し、利用体制（学習機会の設置、講師等の連携等）の仕組みを検討する。

今後の取り組み方針

○ホームページ等を活用し、名蔵アンパルガイドブックが利用できるように検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,351	2,351	1,880	471	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	主な支出先は、委員への謝礼及び原稿執筆者への報酬となっている。謝礼及び報酬は市の規程に沿って支出している。冊子の利用は市民全員が利用できるようになっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－⑩	南の島の猫アイランド事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(1)－オ
					県民参画と環境教育の推進
担当部課名	市民保健部　環境課	事業実施（予定）年度	平成２４～２７年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(1)

事業内容

新港地区緑地公園の衛生・環境保全のため、獣医師会の協力を得ながら猫の捕獲・保護及び避妊・去勢等を実施し、市民生活の環境保護に努める。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	1,380				
	(b) 予算現額	1,225				
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 155				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,225	0			
B. 執行済額		1,225				
うち交付金充当額		979				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明

消耗品費についての残額があるが、事業実施の際、関係機関や住民に協力を呼びかけたところ、事業に使用するタオルやマット、餌缶等の提供があったことによる。その他の支出については、ほぼ計画どおりの執行となっている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
猫の避妊・去勢個体数	目　標	（150匹）	（　）	（　）	（　）
	実　績	191匹			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

事業実施において、猫の捕獲を効率的に行うことができ、当初の予定を上回る捕獲及び避妊・去勢治療を行うことができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
猫の避妊・去勢個体数	目　標	（0）	（150匹）	（　）	（　）	（　）
	実　績		191匹			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

事業実施において、多くのボランティアの協力を得ることが出来たことで、猫の捕獲を効率的に行うことができ、当初の予定を上回る捕獲及び避妊・去勢治療を行うことができた。

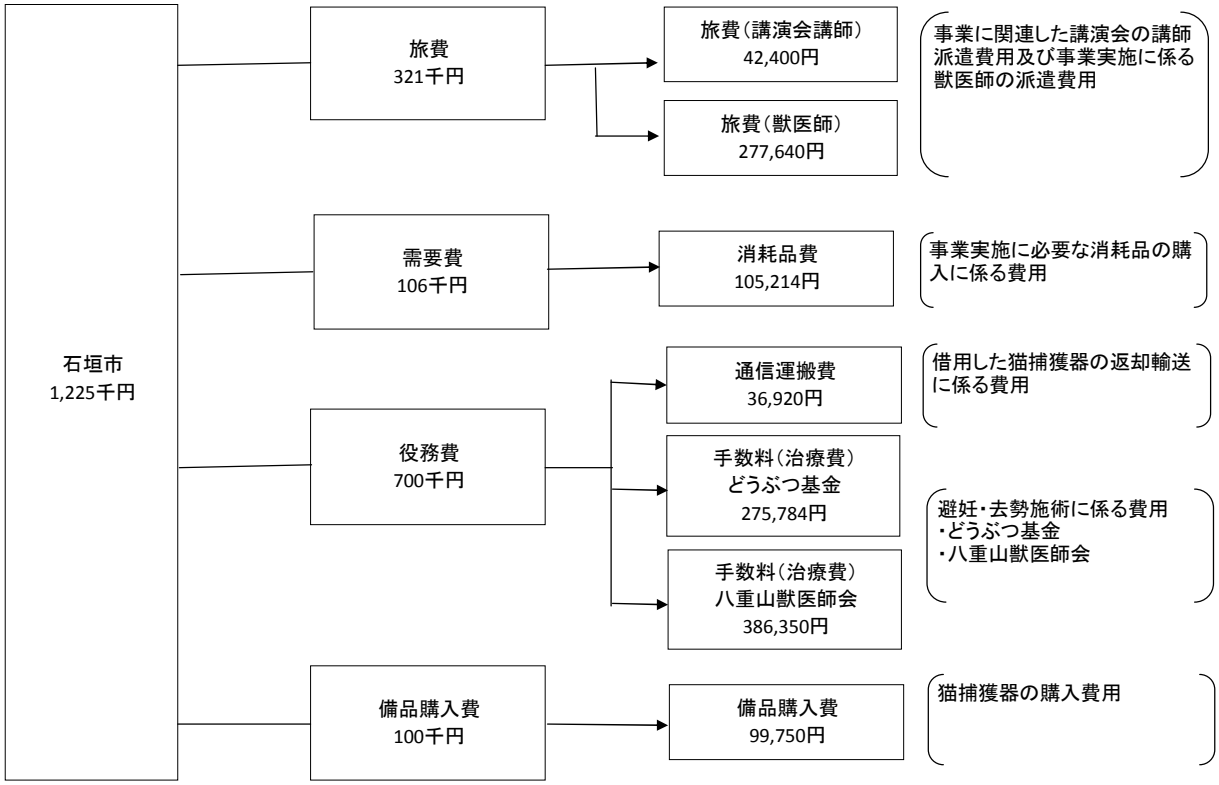
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	○事業実施後しばらくは、新たに捨てられた猫は確認できなかったが、その後猫を放置される状況がある。（手術済は耳カット有りのため、確認可能） ○公園内において猫のトイレ用の砂場や餌場等が既に設置されているが、その適正な管理が必要。	○事業実施場所で、看板やポスター等の掲示による広報の継続。 ○公園管理者との調整、及び動物愛護にかかる啓発の継続

今後の取り組み方針

○公園内の公衆衛生が保たれるよう、関係機関との連携を図りながら、今後もこれ以上捨て猫を増やさないような取り組みを八重山獣医師会やボランティア関係団体の協力を得ながら継続していく必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,225	1,225	979	246	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先は動物医療の専門機関となっており、それぞれ治療を施した猫の頭数、接種したワクチン等費用を計上し支出しました。受益者は市民及び石垣島に訪れる観光客など地域全体を考慮している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３-⑪	赤土等流出防止対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章1-(1)ーイ 陸域・水辺環境の保全
担当部課名	農林水産部農政経済課・むらづくり課	事業実施（予定）年度	H24～H28	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)

事業内容

農地からの赤土流出防止を図る。
①グリーンベルト（ベチベル・月桃）の設置。
②緑肥（クロタラリア・ピジョンピー・ひまわりの種）の提供。
③株だし管理機を導入し、株だし面積の増加を図る。（サトウキビの株出しで赤土流出を抑える効果がある。）
④石垣市内にある土地改良施設（沈砂地）の土砂浚渫作業を実施し、赤土流失防止を図る。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	14,992				
	(b) 予算現額	14,992				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	ー				
	A. 計 (b+d)	14,992	0			
B. 執行済額		12,440				
うち交付金充当額		9,952				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		83.0%				

予算の状況の説明

不要額が1785千円発生しているが、備品購入費の入札残と、緑肥種子購入分の残りによるものである。
当初計画していた配布面積60haを上回る面積をカバーできたので、適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
グリーンベルト及び緑肥の設置支援	目　標	（60ha）	（　）	（　）	（　）
	実　績	69ha			
株だし管理機材の購入	目　標	（1機）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1機			
土地改良施設（沈砂池）	目　標	（14箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績	14箇所			

達成状況説明

クロタラリア2014kg(40.3ha相当)とひまわり862kg(28.7ha相当)もの緑肥種子を投入することで、広範囲にわたって緑肥種子播種による赤土流出防止対策を講じることができた。また、石垣市内にある土地改良施設（沈砂池）、14箇所の土砂浚渫を行うことによって、当該沈砂池周辺からの赤土流失防止対策を講じることができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
グリーンベルト及び緑肥の設置面積	目　標	（　）	（60ha）	（　）	（　）	（　）
	実　績		69ha			
株だし管理機材の購入	目　標	（　）	（1機）	（　）	（　）	（　）
	実　績		1機			
土地改良施設（沈砂池）	目　標	（　）	（14箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績		14箇所			

進捗状況説明

クロタラリア2014kg(40.3ha相当)とひまわり862kg(28.7ha相当)もの緑肥種子を投入することで、広範囲にわたって緑肥種子播種による赤土流出防止対策を講じることができた。石垣市内にある土地改良施設（沈砂池）、14箇所の土砂浚渫を行うことによって、当該沈砂池周辺からの赤土流失防止対策を講じることができた。

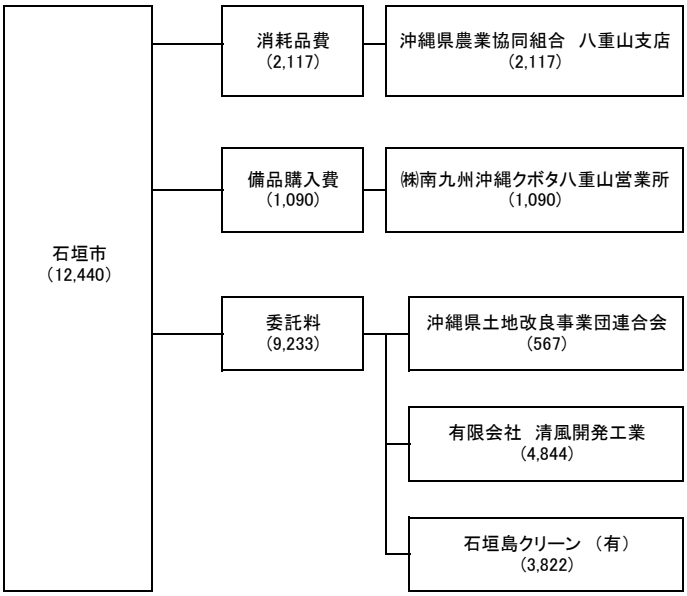
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	予算が執行できたのが、梅雨を過ぎたあと、また、H24年の夏植えには間に合わない時期であったため、募集期間の設定が困難であった。 計画どおり土地改良施設（沈砂地）について業務執行できた。	年度開始早々に執行できれば、梅雨の時期をカバーできると思われる。 年度開始早々に執行することにより、梅雨時期の赤土流出に備えることができる。

今後の取り組み方針

年度開始から早期の事業執行を目指す。
また、H24に導入した株だし管理機は、サトウキビの生育ステージ上、H25年度からの稼働となる。
島内には大小多くの沈砂池があり、計画的な浚渫ができれば、赤土流出防止を促進することになる。また、排水路の浚渫も計画的に実施していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,440	12,440	9,952	2,488	0



（緑肥種子（クロタラリア、ひまわり）普及による赤土流出防止支援、
生分解性マルチフィルムによる赤土流出防止対策。）

（さとうきびの株出しを推進するために、株出し管理機を導入した。）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	株だし管理機の導入は、妥当な選定方法である入札を行った。 予算の使途は、赤土流出防止資材と株出し管理機のみであり、極めて妥当である。浚渫委託事業者は指名競争入札で決定した。業務費の算定は、掘削、運搬で積算されており極めて妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑫	エコカー公用車導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－（３）－ア 地球温暖化防止対策の推進
担当部課名	総務部　契約管財課	事業実施（予定）年度	平成24～平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（１）

事業内容

石垣島全体をエコ化に向けた取組みとして、環境の保全及び魅力ある観光地を形成することで沖縄振興に繋げる。具体的に、EV車を公用車として導入することにより、環境保全と先導的なエコアイランド化を推進する。

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,791				
	(b) 予算現額	1,252				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,539				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,252	0			
B. 執行済額		1,252				
うち交付金充当額		1,001				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：・入札残により不用額が発生しているが、当初計画していた事業内容は実施済であり、活動目標及び成果目標の達成状況を鑑みて執行内容は適正であった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
EV車の導入台数	目　標	（ 4 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：電気自動車充電設備を設置完了し、公用車としてEV車4台を導入した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
EV車の導入台数	目　標	（　）	（ 4 ）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：電気自動車充電設備を設置完了し、公用車としてEV車4台を導入した。今後、EV車の有効活用を図り、エコアイランド化推進の観点から市民に向けての啓蒙活動に努める。

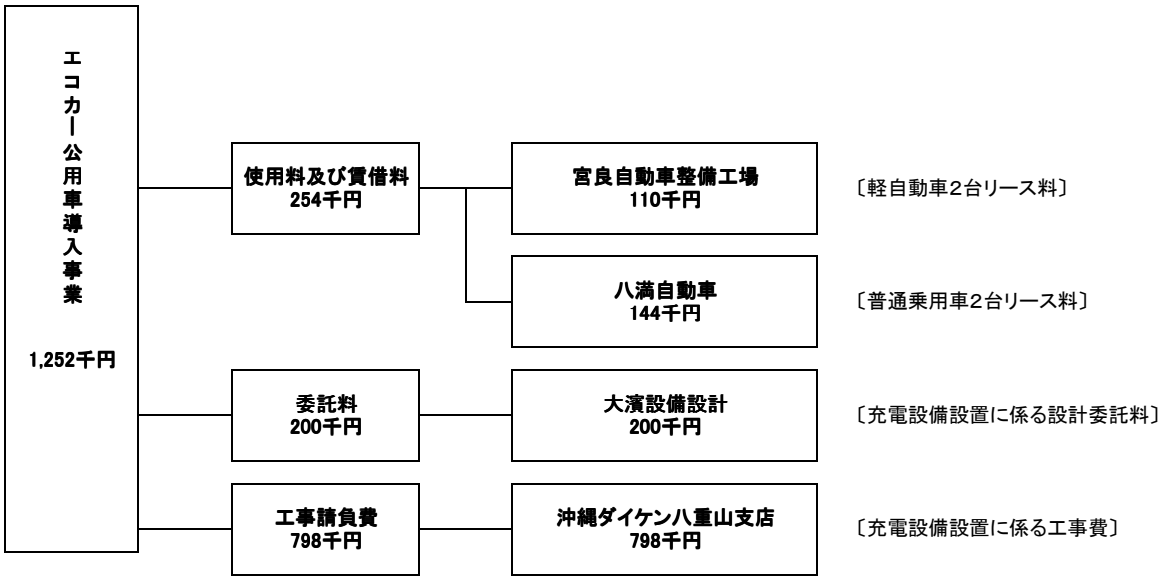
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現在、島内には電気自動車を充電するための設備が整備されておらず、電気自動車を普及させるためには、環境整備も併せて必要だと感じている。	エコアイランド化を推進するうえでの関係各課と協議・検討する。

今後の取り組み方針

○イベント等において、電気自動車を活用したPR活動を計画・実施し、エコカー普及に向けての啓蒙活動に努める。
○電気自動車充電設備の整備については、エコアイランド化を推進するうえでの関係各課と協議・検討し島内各所への設備整備を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,252	1,252	1,001	251	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	業者選定を指名競争入札でおこない、低価格の事業費執行に努めた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－①	ものづくり・マーケティング総合支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（８）－ア 中小企業等の総合支援の推進
担当部課名	企画部商工振興課	事業実施（予定）年度	H24-H26	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（４）
事業内容	個人や小規模事業者等が地域農産物等を加工できる施設を整備することや専門家等によるセミナーを継続して開催することにより特産品開発を促進する。また、離島ゆえのハンディを抱えている出展業者への助成制度をもうけることにより出展を支援する。特産品開発のノウハウを習得するための講習会やワークショップを開催し、特産品開発（工芸技術者）のできる人材を育てる				
実施方法	■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,677				
	(b) 予算現額	5,620				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,057				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,620	0			
B. 執行済額		5,597				
うち交付金充当額		4,477				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		当初予算額に対して予算現額が減額となった理由は、「共同加工施設整備」に係る平成24年度予定の事務について実施時期を見直し平成25年度扱いとしたため。また、補助（助成金）については、出展助成件数が当初予定件数を下回ったことによる。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
物産展出展支援	目　標	（　物産展出展　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	物産展出展支援			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

①「共同加工施設整備」は、継続事業としてH25以降も継続予定。H25は整備に資するための調査委託を実施予定。
②物産展（富山）は予定どおり実施し、13業者に対する出展助成も実施した。
③八重山そばPR事業は、プロポーザル公募後に委託し大阪のイオンモール店において予定どおり実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
県外物産展への出展者数	目　標	（　0　）	（　13　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		13			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

①共同加工施設は継続中の事業のため施設整備はまだである。よってそこから生まれた加工品はH24はゼロ。
②H23からH24にかけて県外（富山県）への物産展出展者は2業者から13業者に増加
③アンケート調査結果により八重山そばの周知が図られた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ア　共同加工施設は視察実施の前に市内の生産者及び製造加工業者、さらにはエンドユーザーとなる消費者のニーズ把握などを踏まえた基本設計が不可欠との結論に達した。 イ　出展事業への助成は利益が生じた場合の取り扱いを（交付金の性格上）事前に定めておくことが必要と感じた。 ウ　八重山そばの展示販売、試食は一定のPR効果があるが、そこから一歩踏み込んだ販促活動やフィードバックされて地元で活用される道筋などをより明確にしておく必要性を感じた。	ア　左記留意点を踏まえ、平成25年度は「戦略品目の選定」、「加工商品の企画開発」、「コスト・流通管理」、「広報戦略」、「販売（出口）戦略」等を議題に、市内の生産、製造、加工、販売等関係者の意見を参考にしながら、調査検討業務を実施する。 イ　平成24年度は特定の出展者に対し旅費を含めた助成スキームを実施したが、平成25年度は一定の要件を満たした市内業者を対象に「商品送料」に限定した助成スキームへの変更を検討する。 ウ　八重山そばPR事業は平成24年度単独の事業。平成25年度以降は特産品開発／振興の観点から戦略品目等を検討したい。

今後の取り組み方針

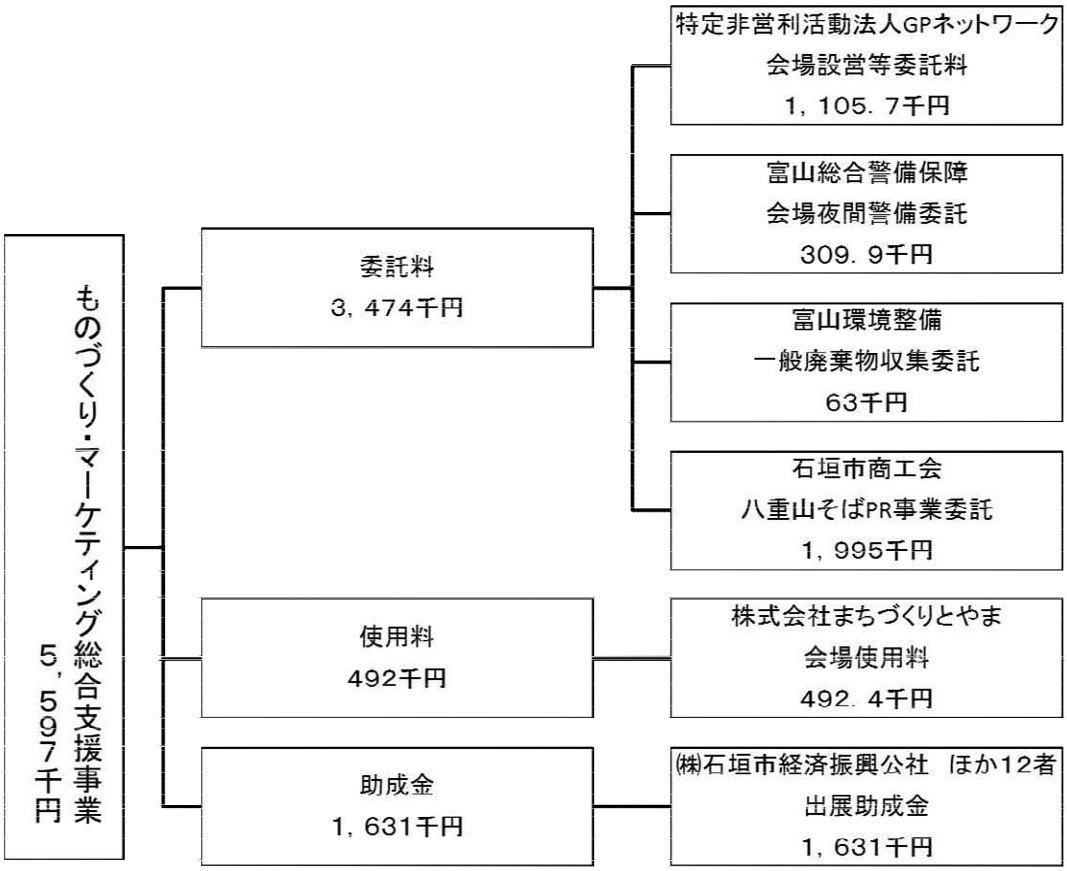
ア　左記留意点を踏まえ、平成25年度は「戦略品目の選定」、「加工商品の企画開発」、「コスト・流通管理」、「広報戦略」、「販売（出口）戦略」等を議題に、市内の生産、製造、加工、販売等関係者の意見を参考にしながら、調査検討業務を実施する。

イ　平成24年度は特定の出展者に対し旅費を含めた助成スキームを実施したが、平成25年度は一定の要件を満たした市内業者を対象に「商品送料」に限定した助成スキームへの変更を検討する。

ウ　八重山そばPR事業は平成24年度単独の事業。平成25年度以降は特産品開発／振興の観点から戦略品目等を検討したい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,597	5,597	4,477	1,120	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託相手の選定については「随意契約」及び「公募型」を採用したが、業務の性格と内容に照らし妥当であった。 ・実施事業の予算は積算又は見積により算定され妥当であった。 ・出展事業における各業者の総事業費に対する助成率は10%台から48%であり、利益醸成にもつながっていないため、助成の有り方としては適正な支出であった。 ・事業内容に即した支出負担行為並びに支出調書が適正に整備されており、妥当な支出であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	４－③	商店街・中心市街地活性化並びに商業振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（８）－イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興
担当部課名	企画部商工振興課	事業実施（予定）年度	H24-H26	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－（７）

事業内容

地元商工会、まちづくり会社、商店街関係者、商業観光産業従事者等による中心市街地活性化を目的とする勉強会を継続して実施し、活気あるまちづくりの実践へ結びつけるとともに、そのためのアクションプランを策定する

実施方法

■直接実施　■委託　□補助　■負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,054				
	(b) 予算現額	3,152				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 902				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	3,152	0			
B. 執行済額		2,555				
うち交付金充当額		2,043				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		81.1%				

予算の状況の説明

当初予算額に対して予算現額が減額となった理由は、当初年間で3回予定していた先進地視察が参加予定者の日程調整の都合がつかず2回になったため関連する旅費が減額になったため。また、報償費についてはフォーラム開催時に当初2名予定の講師が都合により1名になったため減額となった。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
①中心市街地活性化セミナー開催 ②中心市街地活性化先進地視察 ②中心市街地活性化フォーラム開催	目　標	（中心市街地活性化セミナー開催:2回 先進地視察:2回 フォーラム開催:1回）	（　）	（　）	（　）
	実　績	中心市街地活性化セミナー開催:2回 先進地視察:2回 フォーラム開催:1回			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明

①専門家を講師に招いた地元でのセミナーを2回開催することができた。
②中心市街地まちづくりの先進事例を視察するため地元のまちづくり関係者を中心に視察チームを編成し、計2回4カ所の視察を行った。
③平成24年度の取り組みの総決算の意味でまちづくりフォーラムを市民の参加を得て実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
①セミナー参加人数 ②先進地視察参加人数 ③フォーラム参加人数	目　標	（0）	（50）	（　）	（　）	（　）
	実　績		51			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明

①セミナー第１回は公民連携や既存市街地のリノベといったテーマの性質上役所の担当課やまちづくり会社関係者などの参加が目立った。
②先進地視察は将来の中活まちづくり協議会（仮称）の構成団体を意識し商工会、TMO＋観光経済団体等からの参加が得られ、情報の共有が図られた。
③多種多様な層の市民参加が得られ、講師の進行により参加型のフォーラムが開催でき、次年度以降への足掛かりが得られた。

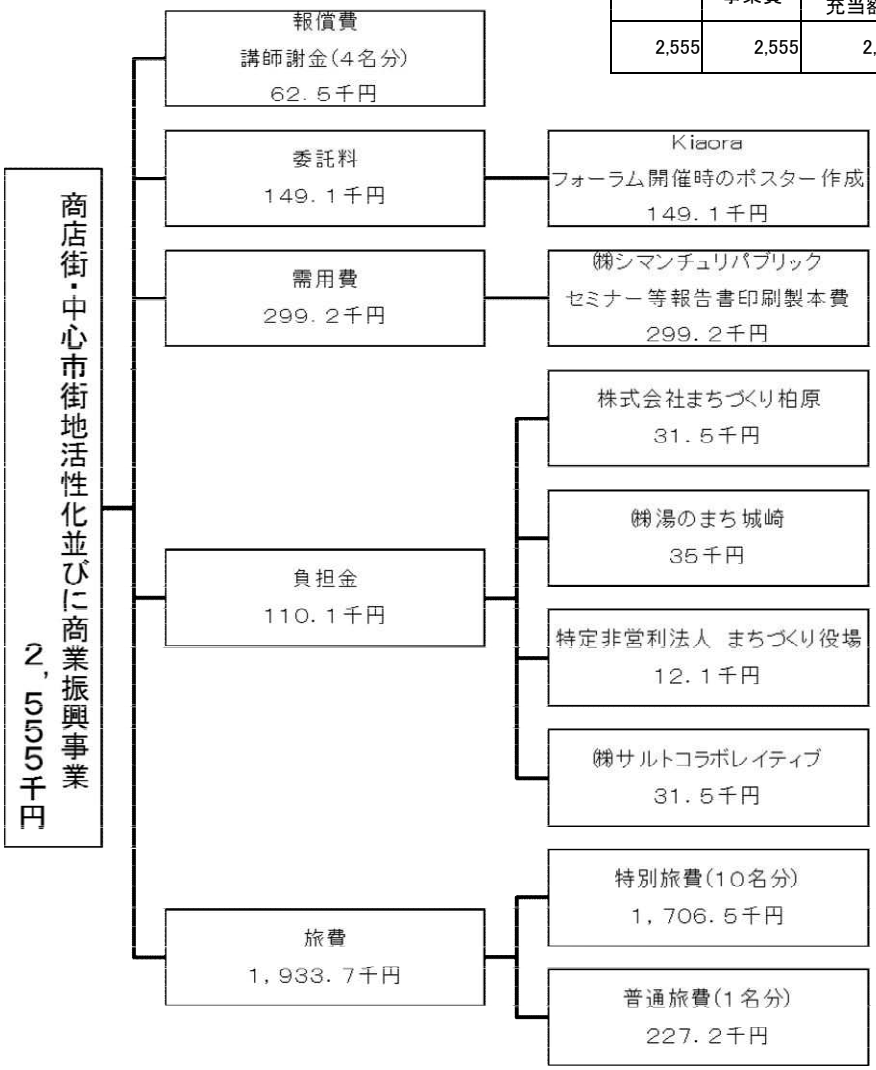
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	ア　テーマの設定や講師選定については本市のニーズに応え得る適確なものであったかと思う。今後の課題としては、参加者を限定的な層からより多様な層へ拡大する取り組みが必要だと感じた。（セミナー） イ　直接、間接に本市のまちづくりに参考になる場所の視察ができたと思う。日程の都合上数時間の間にフィールドワークから座学等を行わなければならないため、若干時間が足りない感じがした。（先進地視察） ウ　講師の巧みな進行により参加者が自然な形で意見交換に参加できたので大変良かった。次回は数日に分けてもう少し内容の深掘りすることができればさらに良いと感じた。（フォーラム）	平成25年度は、前年度の取り組みを踏まえてより時間をかけ、共通課題である「商店街・中心市街地活性化並びに商業振興アクションプラン（仮称）」の策定へ向けたワークング作業に着手したい。 事業の継続性を得るため平成24年度の関係者（セミナー等への参加者や視察者）を中心に市民参加の上ですすめていきたい。

今後の取り組み方針

平成25年度は、商店街・中心市街地活性化並びに商業振興アクションプラン（仮称）の策定へ向け、下記のとおり具体的な作業に着手する。
①検討組織の立ち上げ（協議会）準備
②事業実施組織の立ち上げ準備
③プラン策定委員会の立ち上げ
④上記①～③に連動してプラン策定に関する業務委託

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,555	2,555	2,043	512	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先については石垣市財務規則に基づき所定の手続きにより選定した。 ・同上 ・すべての科目において直接実施のため受益者負担等は発生しない。 ・支出負担行為並びに支出調書ともに適正に作成の上事業実施を行った。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－①	熱帯果樹栽培研究事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－(7)－ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
担当部課名	農林水産部　農政経済課	事業実施（予定）年度	H24～H28	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

熱帯果樹（パパイヤ、マンゴー等）の生産拡大を図り、農業振興に寄与するとともに、製造業・観光業など他産業とも連携した市の自立的産業構造の確立を図る。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	6,323				
	(b) 予算現額	6,323				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,323	0			
B. 執行済額		4,033				
うち交付金充当額		3,226				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		63.8%				

予算の状況の説明：執行率が63．8%であるのは、平成24年度の事業内諾が7月31日のため

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
パパイヤの優良矮性品種の作出	目　標	（　2　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	0			
熱帯果樹の減圧低温乾燥による商品開発	目　標	（　4　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2			

達成状況説明：パパイヤの優良矮性品種の作出については、交配試験により選抜中であり、熱帯果樹の減圧低温乾燥による商品開発はパパイヤ野菜とパインの輪切りを商品化した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
パパイヤの優良矮性品種の作出数	目　標	（　）	（　2　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		0			
熱帯果樹の減圧低温乾燥による商品開発数	目　標	（　）	（　4　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2			

進捗状況説明：パパイヤの優良矮性品種の作出については、交配試験により作出中であり、熱帯果樹の減圧低温乾燥による商品開発はパパイヤ野菜とパインの輪切りを商品化した。

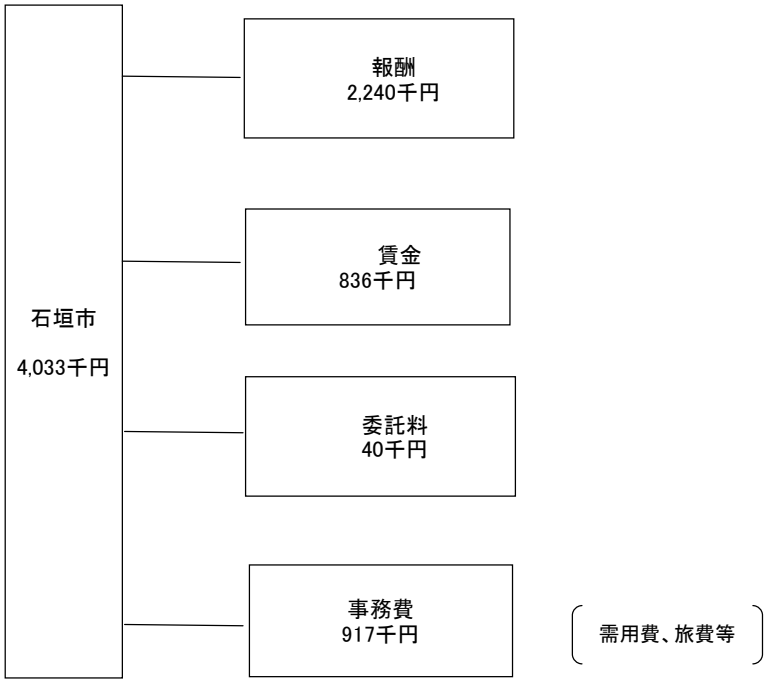
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・パパイヤ新品種の育成については、熱帯果樹センター（旧パパイヤ研究所）がパパイヤ用の温室や圃場を持っていないため、農家の施設を借りている。その為、作業効率が十分ではない。 ・乾燥機については、現在2号機を製作中である。	・パパイヤ新品種の育成については、できるだけ効率的に進めるため、現在の選抜方法の再検討が必要である。 ・乾燥機2号機の結果を得て、更に改良を進める。

今後の取り組み方針

パパイヤの育種については、早期の選抜を進める。乾燥機については、2号機の結果を得てから検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,033	4,033	3,226	807	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	予算の使途については補助金および委託費とも適切に支出され、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５－②	さとうきび振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－(7)－ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
担当部課名	農林水産部　農政経済課	事業実施（予定）年度	H24～H28	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容

さとうきびの安定生産を図ることを目的とし、新たな機能を有する農薬を用いて、病害の生理的特性を利用した新防除技術を導入するため、生産農家を対象に農薬購入に対する購入補助を行う。また、さとうきび収穫後の裸地に蕎麦を植え付け耕土流出を防止するため、蕎麦栽培を実施する。

実施方法

□直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	64,152				
	(b) 予算現額	64,152				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	64,152	0			
B. 執行済額		30,425				
うち交付金充当額		24,340				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		47.4%				
予算の状況の説明		交付対象時期の関係で交付金充当は、新防除農薬剤補助事業については、夏植え30,000千円(11,071袋)・春植え9,786千円(3,229袋)、輪作品目としての蕎麦栽培事業については、3農家へ委託栽培(3×71,216円・設置面積3×15a　45a)を実施した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
病害虫防除の支援	目　標	（　10,000袋　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	14,674袋			
輪作作物の植え付け	目　標	（　15a　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	45a			

達成状況説明

農薬購入補助については、夏植え553ha(11,071袋)・春植え161ha(3,603袋)であり、蕎麦植え付けについては、3農家へ委託栽培(品種キタワセ、岩手早生、さちいずみ　設置面積3×15a　45a)を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
農薬購入袋数	目　標	（　　）	（　10,000袋　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		14,674袋			
【参考指標】裸地への蕎麦植え付け面積	目　標	（　　）	（　15a　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		45a			

進捗状況説明

農薬購入補助については、夏植え553ha(11,071袋)・春植え161ha(3,603袋)であり、蕎麦植え付けについては、3農家へ委託栽培(品種:キタワセ、岩手早生、さちいずみ・設置面積:3×15a　45a)を実施した。

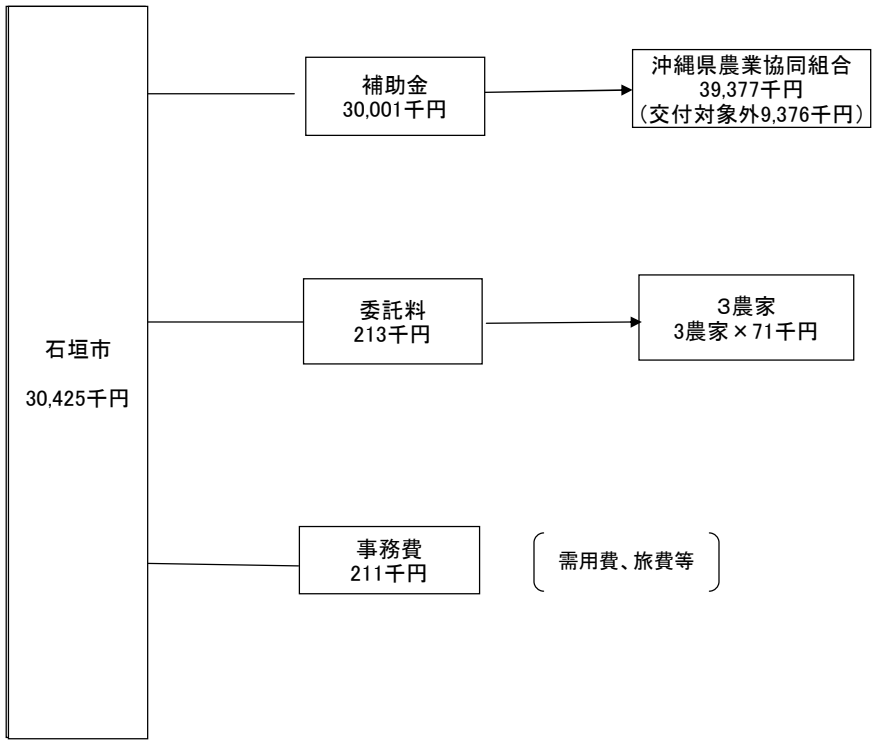
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	農薬購入補助については、作付け実績に基づき補助するため、関係機関（石垣島製糖、農協）との確認作業に時間を要する。蕎麦栽培については、農家の協力と植え付け、管理、収穫に工夫が必要である。	農薬購入補助については、関係機関（石垣島製糖、農協）との確認作業の改善として、月毎の集計するとともに、農家申請も参考する。蕎麦栽培については、農家の協力体制を図り、植え付け、管理、収穫についても農家に負担にならないようにする。

今後の取り組み方針

農薬購入補助については、購入期間関係機関（石垣島製糖、農協）との確認作業の改善として、月毎の集計するとともに、農家申請も参考する。蕎麦栽培については、農家の協力体制を図り、植え付け、管理、収穫についても農家に負担にならないようにする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,801	30,425	24,340	6,085	9,376



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	予算の使途については報酬、賃金、事務費および委託料とも適切に支出され、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	５-③	石垣産の牛生産推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－(7)－ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
担当部課名	農林水産部畜産課	事業実施（予定）年度	H24～H33	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１－(6)

事業内容

・家畜等伝染病対策支援事業
口蹄疫等の家畜伝染病を未然に防止するため、離島フェリーターミナル等に靴底消毒マットを設置する。
・緊急優良母牛更新事業
地域内母牛群の改良および更新を図るため、優良母牛を導入した農家へ1頭当たり最大20万円の補助を行い、市場性の高い子牛生産を推進する。

実施方法

■直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	15,334				
	(b) 予算現額	15,334				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	15,334	0			
B. 執行済額		11,188				
うち交付金充当額		8,950				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		73.0%				
予算の状況の説明		緊急優良母牛更新事業について当初70頭×補助20万（最大）＝1400万円を見込んだが、実績は58頭、1頭平均約17万円の補助となったため約400万円が不要額となっている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
消毒マット設置個所数	目　標	（　４箇所設置　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	４箇所設置			
優良母牛更新の支援	目　標	（母牛導入事業実施）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	母牛導入事業実施			

達成状況説明	活動目標を達成している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
消毒マット設置個所数	目　標	（　　）	（　４箇所　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		４箇所			
優良母牛更新頭数	目　標	（　　）	（　50頭　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		58頭			

進捗状況説明	成果目標どおり進捗している。

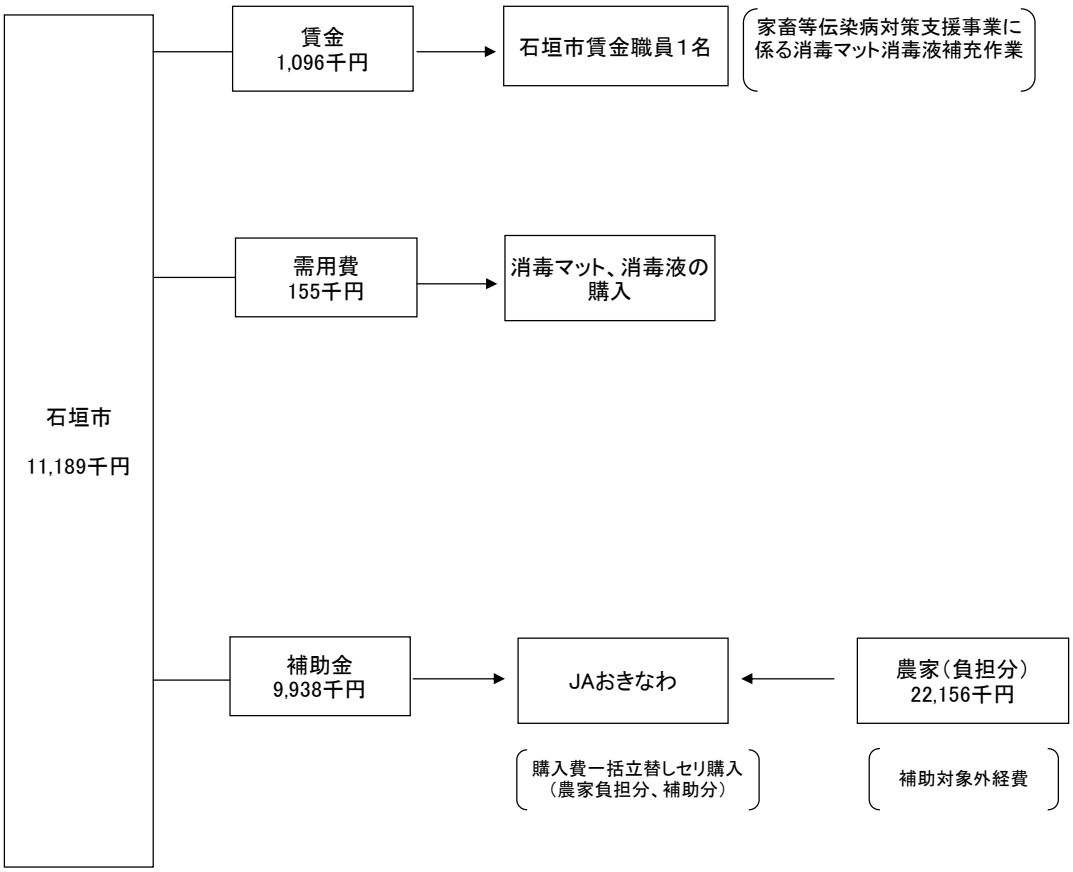
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	消毒マット消毒液補充作業について、24年度は賃金職員にて作業を行ったが、休日その他の事由により、補充作業が行えない日があった。 緊急優良母牛更新事業では、当初地元家畜セリ市場での導入を主に予定していたが、要件牛または農家希望牛が少なく導入がスムーズにいかなかった。	消毒液補充作業を委託し、靴底消毒が確実に行えるようにする。母牛更新事業は導入牛要件の緩和及び県外市場での一括買付を行うことで導入頭数の増加が図られる。

今後の取り組み方針

消毒液補充作業を離島フェリーターミナルに常駐する清掃請負業者等に業務委託する。母牛更新事業については、年度途中においてに取組の検証を関係機関で行い、要綱の改正や県外への買付を行ったが、次年度においても同様に実施し母牛更新を推進する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
33,344	11,189	8,950	2,239	22,156



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	緊急優良母牛更新事業について、導入牛はセリ購入であるため、八重山家畜セリ市場を運営しているJAによる導入牛購入が望ましい（県外も含め）。補助額についても要綱に規定する費目の1/3以内となっており、必要額である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-⑤	アカジン（スジアラ）養殖実証試験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－３－（７）－ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備
担当部課名	農林水産部水産課	事業実施（予定）年度	平成２４～２５年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(6)

事業内容	アカジンの仔魚に、餌に本市特産のユーグレナ（ミドリムシ）を添加して付加価値をつけるのとユーグレナを添加しないものとの違いで、他との差別化をを図る養殖実証試験を行う。
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,000				
	(b) 予算現額	1,471				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,529				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	1,471	0			
B. 執行済額		1,471				
うち交付金充当額		1,176				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		事業内諾の遅れにより事業期間が大幅に短縮したため、それに伴い餌料の減額となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
アカジン（スジアラ）養殖実証試験	目　標	アカジン（スジアラ）養殖実証試験の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績	アカジン（スジアラ）養殖実証試験の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：
・本市種苗供給施設内屋内水槽（7tタンク）2つに850匹づつアカジンの仔魚を入れ、ユーグレナ添加餌料を与えるものとユーグレナ無添加餌料を与えるものに分け、試験終了時に1尾当たり平均300gまでの成長を目指しているが、ユーグレナ入り餌料を与えている仔魚については、魚体重15%の増体率の向上を目指す実証試験を行った。
事業内諾が年末となったため、今年度は3か月弱の事業期間となったため、成果はでていません。引き続き25年度も事業を予定しているので、成果は次年度以降になってきます。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
アカジン（スジアラ）養殖実証試験	目　標	（－）	アカジン（スジアラ）養殖実証試験の実施	（　）	（　）	（　）
	実　績		アカジン（スジアラ）養殖実証試験の実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：
・本市種苗供給施設内屋内水槽（7tタンク）2つに850匹づつアカジンの仔魚を入れ、ユーグレナ添加餌料を与えるものとユーグレナ無添加餌料を与えるものに分け、試験終了時に1尾当たり平均300gまでの成長を目指しているが、ユーグレナ入り餌料を与えている仔魚については、魚体重15%の増体率の向上を目指す実証試験を行った。
事業内諾が年末となったため、今年度は3か月弱の事業期間となったため、成果はでていません。引き続き25年度も事業を予定しているので、成果は次年度以降になってきます。

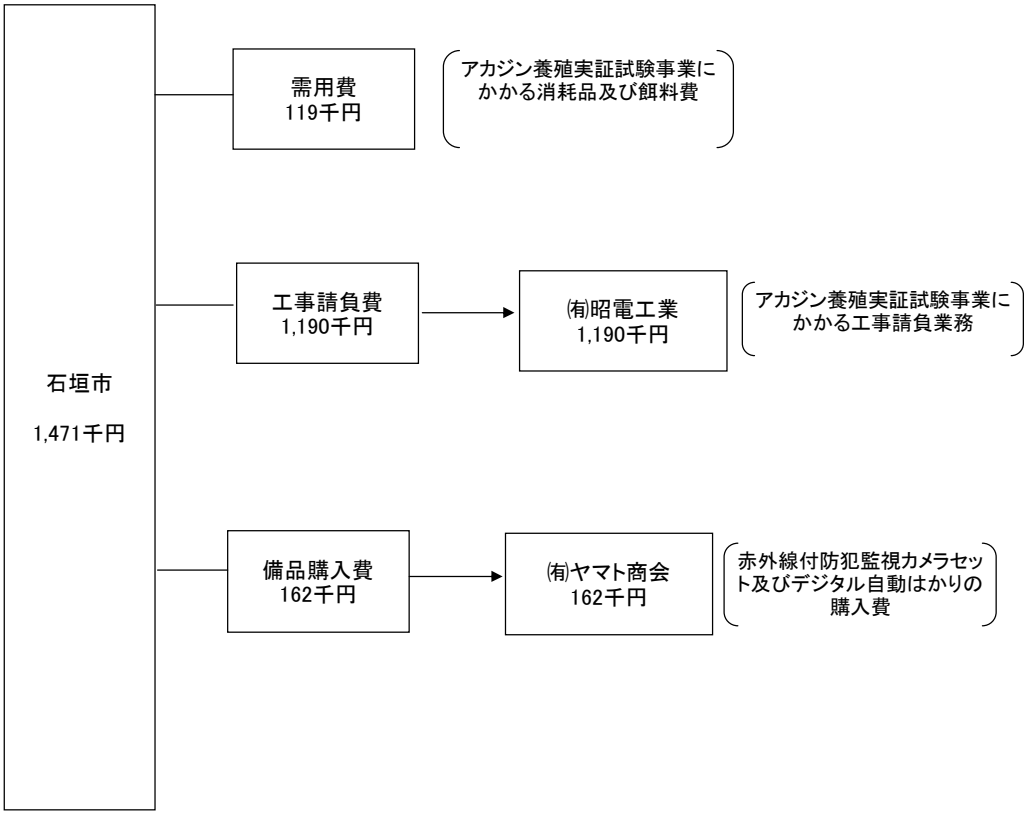
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・本課で直接魚類を養殖することが、初めての経験なので事業を実施する上で、独立行政法人　西海区水産研究所亜熱帯研究センターと技術協力協定を結び、養殖手法の指導等を仰ぎ実証試験に取り組んでいます。また、餌料を購入している㈱ユーグレナ社においてもアカジンの計測等を協力してもらっています。	・試験を始める時に、850尾づつ（計1，700尾）アカジンの仔魚を導入したが、今年度の事業終了時に西海区水産研究所のアドバイスにより、現在の尾数ではタンクの大きさに比べて多すぎるので、試験の成果が出ない（成長が遅い）ので、飼育尾数を減らした方がいいとのことだったので、大きいサイズの仔魚から244尾づづ（計488尾）を選定して試験尾数の見直しを行った。

今後の取り組み方針

24年度同様25年度も実証試験を行う予定であるので、引き続き西海区水産研究所及び㈱ユーグレナ社の協力のもと、アカジン養殖実証試験を実施していきたい。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,471	1,471	1,176	295	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・工事請負業者は地方自治法施行令により適正に随意契約を行っており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-①	児童・高齢者・障がい者・福祉避難所等複合施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－２－（４）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	福祉部　福祉総務課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（２）
事業内容	災害時における「福祉避難所」と平常時における児童・高齢者・障がい者等の社会的な居場所を確保した複合施設の整備				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,830				
	(b) 予算現額	4,830				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,830	0			
B. 執行済額		4,757				
うち交付金充当額		3,805				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		98.5%				
予算の状況の説明		適正執行の範囲内と考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
児童・高齢者・障がい者・福祉避難所等複合施設整備のための基本計画の策定	目　標	（　基本計画策定　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	基本計画策定			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	児童・高齢者・障がい者・福祉避難所等複合施設の位置づけや役割あるいは機能について、市としての基本的な方向性をまとめた基本計画を策定した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（24年度）
福祉避難所兼ふれあい交流施設建設基本計画書の印刷部数	目　標	（　0部　）	（　30部　）	（　）	（　）	（　30部　）
	実　績		30部			
【参考指標】概要版の印刷部数	目　標	（　0部　）	（　100部　）	（　）	（　）	（　100部　）
	実　績		100部			
進捗状況説明	建設にあたっての基本方向を示すことで、次年度以降の計画推進に資することができる。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成25年度は基本設計実施設計平成26年度施設整備の予定であるが、建設予定場所には公共下水道の敷設がなく、浄化槽を設置する必要がある。しかしながら建設後に公共下水道が敷設される見込みであることから下水道所管課と協議調整が必要となっている。	下水道敷設時期の前倒しを基本に施設建設予定の変更は行わない方針としたい。

今後の取り組み方針

平成25年度基本設計・実施設計26年度は建設予定であり、基本的には当初計画どおり事業推進していく予定である。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,757	4,757	3,805	952	0

石垣市 4,757千円 → 委託料 4,757千円 → 株式会社沖縄計画機構 4,757千円

（福祉避難所兼ふれあい交流施設建設基本計画書策定にかかる　委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7－①	地域防災力強化育成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－２－（４）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	消防本部総務課	事業実施（予定）年度	平成24～28年	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－１０－（２）

事業内容	救急救助資機材を整備することで既存の自主防災組織の強化を図るとともに、新規組織の立ち上げを促し、有事の際の地域減災に努めるとともに地域内で応急手当の普及促進を図るための資機材と車両を消防本部に配置する。また、地域防災の基盤となる自主防災組織を強化することにより石垣市全体が防災意識の高い、安心安全な地域であることを内外に広く広報し観光振興等に寄与することを目的とする。
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	43,543				
	(b) 予算現額	40,954				
	(c) 増減額 (b−a)	▲ 2,589				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	40,954	0			
B. 執行済額		40,824				
うち交付金充当額		32,658				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
自主防災組織への救急救助資機材の配備	目　標	（16箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績	16箇所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	災害時に救援に時間がかかると思われる遠隔地を中心に、16箇所の自主防災組織に対し救急救助資機材を配備完了。 応急手当の普及促進を図るための資機材と車両を消防本部に配置完了。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
自主防災組織への救急救助資機材の配備	目　標	（6箇所）	（16箇所）	（　）	（　）	（　）
	実　績		16箇所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	市内65か所で自主防災組織を組織し、救急救助資機材を整備する事を最終的な目標として事業を進めているが、H24年度は新たに10箇所が組織され、その他の地域でも組織立ち上げの動きがみられる。

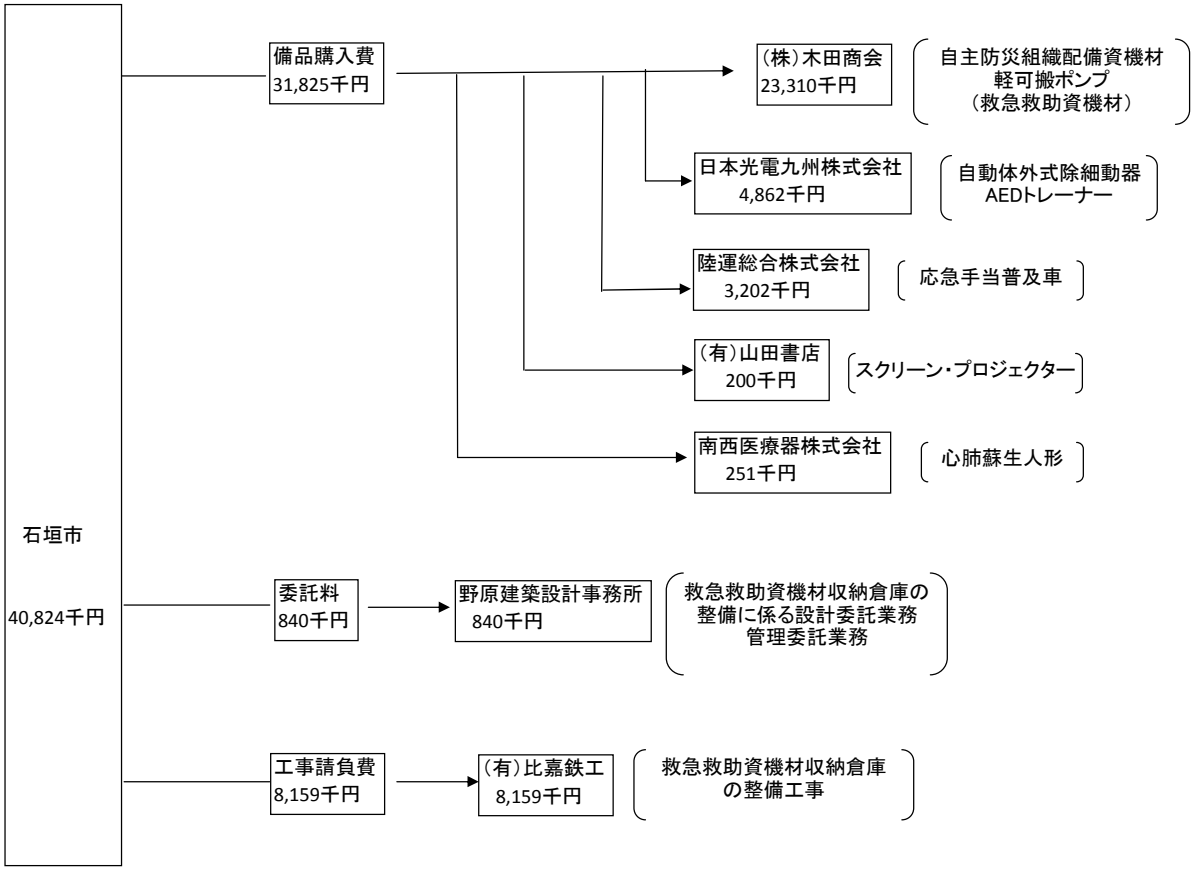
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①地域により世帯数に差があり、必要資機材の数にも開きがあるため、必要資機材の整備に配慮する必要がある。 ②配備資機材の保守管理方法を地域自治会・消防本部・消防出張所・自主防災会で明確に定める必要がある。 ③配備資機材の有効活用に向けての自主防災会へに訓練指導が急務である。	①自主防災連絡協議会を立ち上げ課題の早急な解決策等を話し合う。 ②石垣市消防本部も自主防災会の指導監督を強化し今後充実した活動ができるよう見守りたい。

今後の取り組み方針

平成24年度事業にて自主防災会の新規立ち上げ目標が達成できたことにより、平成25年度も新たに自主防災会の設立を促進していき、これまで以上に安心・安全な石垣市の建設に取り組み、その成果を内外に広く広報し観光振興等に寄与していきたいと思います。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
40,824	40,824	32,658	8,166	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○財務規則に則り随意契約・入札を行ったため支出先の選定方法は適正であったと考えている。 ○受益者との負担関係は、自主防災会と協議を重ね、資機材配備後の管理等について取り決めを設けており、適正であると考える。 ○費目・使途についても事業目的に合致しており、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－②	防災避難道路整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－２－(４)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	農林水産部　むらづくり課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)

事業内容

予想される大地震時における津波避難道路を整備し、平久保住民の迅速かつ安全な避場経路を確保することにより農村集落の環境を整える。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	18,000				
	(b) 予算現額	18,000				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	18,000				
B. 執行済額		17,999				
うち交付金充当額		14,399				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：当初の計画どおり実施した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
防災避難道路整備工事　L＝390m	目　標	(390 m)	( )	( )	( )
	実　績	390 m			
	目　標	( )	( )	( )	( )
	実　績				

達成状況説明：平久保地区の津波一時避難場所へ迅速かつ適切に避難できように避難道路を整備した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（ 年度）
防災避難道路整備工事　L＝390m	目　標	(0 m)	(390 m)	( )	( )	( )
	実　績		390 m			
【参考指標】	目　標	( )	( )	( )	( )	( )
	実　績					

進捗状況説明：成果目標どおり避難道路を整備した。

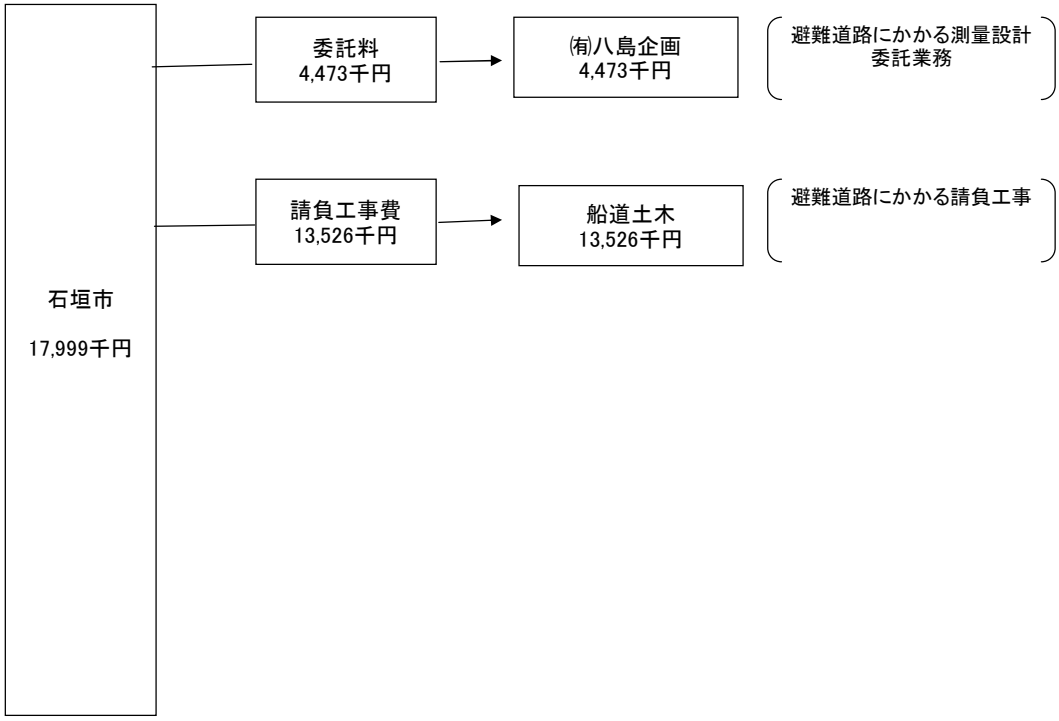
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	予定していた津波避難道路を整備した。	適正な管理運用を図り、最大限効果を発揮していく。

今後の取り組み方針

H25年度も津波避難道路を整備する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
17,999	17,999	14,399	3,600	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は地元コンサルタントを指名競争選定しており、妥当であったと考えている。 ○請負工事は地元建設業者を指名競争選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	７－④	災害に強い港湾整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－２－（４）－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	建設部港湾課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－（2）
事業内容	ボーリング調査により、土質調査・液状化検討及び、防災・減災機能強化の検討を行い、地震・津波等災害時における施設及び、施設利用者の安全の確保を図る。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	19,971				
	(b) 予算現額	19,971				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	19,971	0			
B. 執行済額		16,485				
うち交付金充当額		13,188				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		82.5%				
予算の状況の説明		入札及び、契約変更により残額が発生したが、おおむね予定どおり執行することができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
港湾の防災・減災機能強化に向けた調査検討の実施	目　標	（防災・減災機能調査検討）	（　）	（　）	（　）
	実　績	防災・減災機能調査実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	調査検討を実施し、所用の目標を達成した。このことにより、今後の施設整備・計画に反映することができる。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
港湾の防災・減災機能強化に向けた調査検討の実施	目　標	（　）	（防災・減災機能調査）	（　）	（　）	（　）
	実　績		防災・減災機能調査実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	調査検討を実施し、所用の目標を達成した。このことにより、今後の施設整備・計画に反映することができる。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	予定していた箇所のボーリング調査・液状化、防災減災機能を備えた施設検討を実施 より詳細な検討を行うため、既存データを収集し活用する。	地震・津波等災害時における、防災・減災機能確保の検討に伴う調査を実施した。現状の確認を行う事ができ、今後の施設整備計画に反映させる事で利用者の安全・安心に寄与する。今後、同様の調査が行われた場合、当該調査結果も加味した検討を行う事で、より正確な検討結果を追求する。

今後の取り組み方針

調査・検討結果を、災害時における防災・減災機能を持った施設整備・計画に反映させる。
加えて、今後の調査・検討の結果も参考にし、より良い施設整備計画を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,485	16,485	13,188	3,297	

石垣市 16,485千円 → 委託料 16,485千円 → (株)国建 16,485千円 → 災害に強い港湾整備事業に係る委託業務

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定は、石垣市が指定するコンサルタントにおいて、過去の実績・知識等を勘案し選定を行い妥当であると考える ○事業費規模・事業目的についても事業成果報告書にて確認した結果、適正であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8－②	地元新聞及び郷土資料等の総合的検索システムの構築・導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－（４）－ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	石垣市立図書館	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（２）

事業内容	地元で発行された新聞及び所蔵する古文書等の画像検索システムの構築
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,225				
	(b) 予算現額	9,225				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,225				
B. 執行済額		9,193				
うち交付金充当額		7,354				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		99.7%				
予算の状況の説明		・予算のほぼ全額を執行し、当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標、成果目標達成に向け適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
1952年（昭和27年）～2011年（平成23年）の間に発行された地元新聞，30冊の古文書、1000件の郷土資料の検索用データ作成、登録による検索システムの構築	目　標	（　システム構築　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	システム構築			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明	・目標どおり検索システムを導入し、目標を達成した。システムを構築することで教育環境の向上が図られた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
1952年（昭和27年）～2011年（平成23年）の間に発行された地元新聞，30冊の古文書、1000件の郷土資料の検索用データ作成、登録による検索システムの構築	目　標	（　システム構築　）	（　システム構築　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		２台検索可動			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明	・目標どおり検索システムを導入し、目標を達成した。システムを構築することで教育環境の向上が図られた。

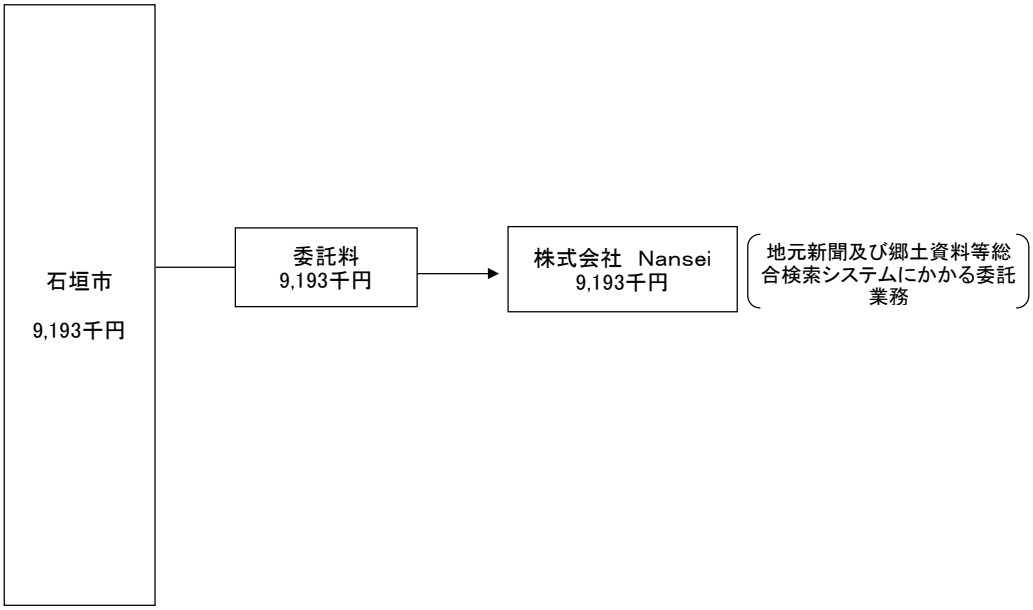
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	システム未整備のため閲覧資料のプリントアウトができないため、可能な限り早急に整備する。	今後も定期的に（更新時は半年～1年を予定）に追加していくほか、将来てきには2紙創刊以前の地元紙のデーターの追加や他資料（古文書）などのデーターの拡充、沖縄大学の調査による古老たちから収録した昔話の音声データーなども追加していきたい。

今後の取り組み方針

●「新聞検索閲覧の検証」により得られた個々の検証結果を踏まえ、プリンターとの連結や新しいデータの更新等により市民サービスの向上を行なう。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,193	9,193	7,354	1,839	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は「八重山毎日新聞」「八重山日報社）と覚書（を交わし、データー使用権を有し、石垣市はもとより、県内各市町村の実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	８－③	石垣市立八重山博物館外壁改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－１－(4)－ウ 文化活動を支える基盤の形成
担当部課名	教育部博物館	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(2)

事業内容

・先の大戦で地上戦がなかった本市は多くの古文書等を有している。貴重な歴史・民俗資料を収蔵保管していく必要があるが、本館は築40年が経過しており、外壁剥離等の老朽化が見られるため外壁改修工事が必要。改修工事により、来館者の安全確保と、収蔵品等への環境保全の確保を図り、市民や観光客に開かれた事業を展開する。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	2,111				
	(b) 予算現額	2,111				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,111	0			
B. 執行済額		1,449				
うち交付金充当額		1,159				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		68.6%				
予算の状況の説明		・不要額が662千円発生しているが、工事費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施しており、活動目標、成果目標達成に向け適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
・博物館外壁の改修工事	目　標	（　工事の完了　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	工事の完了			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：・平成25年3月1日博物館外壁改修工事完了する。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
・博物館外壁の改修工事	目　標	（　　）	（工事の完了）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		工事の完了			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：・平成25年3月1日工事完了する。

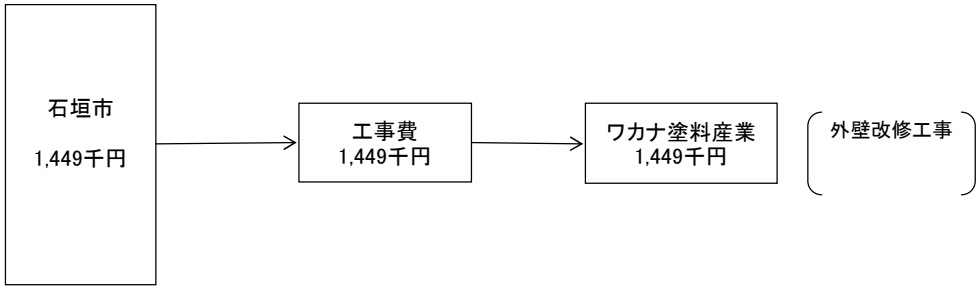
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・工事完了後壁剥離等が無くなり来館者の安全確保や収蔵品の環境保全が図れるようになった。	・来館者の増を図る。

今後の取り組み方針

市民や観光客に開かれた博物館事業を展開していくことにより、来館者の増を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,449	1,449	1,159	290	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－②	ICT教育強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－５－（4）－ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	教育部　学校指導課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（1）
事業内容	市内の小・中学校へ主要教科のデジタル教科書・教材などを購入・配布し、教科書の拡大提示やシミュレーション、映像資料等による児童生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図っていく。				
実施方法	☑直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,351				
	(b) 予算現額	5,351				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,351	0			
B. 執行済額		5,229				
うち交付金充当額		4,183				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		97.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内の小学校へのデジタル教材配布	目　標	（　小学校　20校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	小学校　20校			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	・デジタル教材の配布は12月に完了。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
教育用ソフト配布学校数	目　標	（　）	（　小学校　20校　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		小学校　20校			
【参考指標】市内小学校における全国学力・学習状況調査の平均正答率	目　標	（国語A　61%　算数A　75%）	（国語A　66%　算数A　78%）	（　）	（　）	（国語A　80%　算数A　80%）
	実　績		国語A　78%　算数A　69%			
進捗状況説明	平成24年度の指標となる全国学力・学習状況調査は、4月に行われている。 今回、購入したデジタル教科書や教材は12月に配布されていることとその利用に必要な電子黒板が各学校1台ほどしかなく、十分整備されていないこともあって、納入の成果が発揮されていない。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（ア）教育分野におけるICT機器の活用は、授業の双方向性を高め、児童生徒の主体性、意欲・関心や知識・理解を高めるなど効果があります。その基盤となるハード面（電子黒板）の整備が不十分なために、ソフトを有効に活用できていない。 （イ）各学校に整備したデジタル教科書や教材を活用するためには、電子黒板やワイヤレス・ネットワークの整備が必要不可欠である。 （ウ）平成24年度中にハードウェアの整備が完了し、デジタル教科書や教材が活用されていれば、成果が出ていると考える。	○ハードウェア（電子黒板等）の整備 ○デジタル教科書や教材の有効活用のための研修会の実施 ○ICT機器を活用している実践校の視察及び講師を招聘しての講演会の実施 ○ICT活用を支える支援員の導入

今後の取り組み方針

○ハードウェア（電子黒板等）の整備

○デジタル教科書や教材の有効活用のための研修会の実施

○ICT機器を活用している実践校の視察及び講師を招聘しての講演会の実施

○ICT活用を支える支援員の導入

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,229	5,229	4,183	1,046	

石垣市
5,229千円

消耗品費
5,229千円

（株）オキジム 八重山支店
5,229千円

小学校フラッシュ型教材シリーズ（特別仕様）
対象：石垣市立小学校
（一部教材については宮良小学校は導入済みなので除く）
ライセンス：各校内サイトライセンス
【内容】
・小学校のフラッシュ基礎
・小学校のフラッシュ算数
・小学校のフラッシュ英単語
・小学校のフラッシュ英語表現
・小学校のフラッシュ食育
・フラッシュ漢検

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－③	外国語学習支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－５－(4)－ア 国際社会、情報社会に対応した教育の推進
担当部課名	教育部学校指導課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－(1)

事業内容

・新学習指導要領において、平成23年度から小学校5・6年度の外国語学習が必修科目になったことに伴い、市内小学校へ外国語指導助手を配置する。
・島内各小中学校へ満遍なく異動する手段として車両を購入する。

実施方法

☑直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,959				
	(b) 予算現額	4,450				
	(c) 増減額 (b-a)	491				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,450	0			
B. 執行済額		3,880				
うち交付金充当額		3,103				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		87.2%				
予算の状況の説明		7月からのALT配置を予定していたが、8月からの事業開始となったため。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
外国語学習指導助手の配置	目　標	小学校：2人、中学校：1人	（　）	（　）	（　）
	実　績	小学校：2人、中学校1人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：〇平成24年度に予定した指導助手の配置は目標どおり達成。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
外国語学習指導助手配置数	目　標	（小学校：1人 中学校：1人）	（小学校：2人 中学校：1人）	（　）	（　）	小学校：3人 中学校：1人
	実　績		小学校：２人 中学校：１人			
【参考指標】・標準学力調査平均正答率及び県学力到達度調査の平均正答率	目　標	（標準：60.5% 到達：51.8%）	（標準：61.0% 到達：52.0%）	（　）	（　）	（英語1年：70% 英語2年：60%）
	実　績		標準：61.2% 到達：53.1%			

進捗状況説明：〇平成24年度に予定した指導助手の配置は目標どおり達成。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・本市は児童生徒の全国学力・学習状況調査においても県内でも下位の状況となっていることから、個に応じたきめ細かな指導体制を強化することにより、児童生徒の学習意欲の向上や基礎学力の定着を図り、学力向上を図っていく必要がある。また、平成23年度に県配置のALTの完全引き上げを受け、本市独自でALTを任用し、外国語活動及び英語の授業の支援を行っているが、小学校20名に対し1名、中学校9校に対し1名と各学校の要望に十分応えきれていない状況にある。加えて、児童生徒の国際感覚豊かな人材育成を図るうえで、小・中学校における外国語活動並びに英語教育の環境の整備・充実も課題となっている。	・小中学校における外国語活動並びに英語教育の環境の整備・充実を図ることで、児童生徒の外国語活動及び英語教育に対する積極性や学習意欲が向上、ひいては、基礎学力の向上を目指す。生きた英語に多く触れることにより、英語教育、国際理解教育がより推進される。国際理解に関する学習を進展し、国際化に対応できる人材が育成される。また、小学校教諭による英語指導のスキルアップを図る。

今後の取り組み方針

・児童生徒が一ヶ月に一度はALTとの授業及び活動に参加できるようにする。
・ALTの勤務環境を改善する。
・英語検定試験受検者へ検定料を補助する。
・小学校教諭による外国語活動授業の向上を目指した研修を行う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

石垣市
3,889千円

- 報酬 3,600千円
  - ・ALT報酬（3名分） 3,600千円
- 旅費 66千円
  - ・外国語指導助手研修会 66千円
- 需用費 69千円
  - ・授業用の消耗品費　28千円
  - ・移動に係る燃料代費 41千円
- 賃借料 144千円
  - ・軽自動車リース費用（9月～3月） 144千円

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,880	3,880	3,103	777	

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－④	児童・生徒派遣費助成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－５－（３）－イ 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進
担当部課名	教育委員会　総務課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）

事業内容

市立学校、私立学校、県立学校、スポーツ団体に所属する児童・生徒が、市外・県外で開催されるスポーツ大会又は文化系大会等に出場する際の派遣費用を補助する。

実施方法

□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,660				
	(b) 予算現額	9,660				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,660	0			
B. 執行済額		6,000				
うち交付金充当額		4,800				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		62.1%				
予算の状況の説明		・執行率が低いことについて、当初予定していた補助事業内容を変更した。一人当たりの補助単価を減額し、補助対象を拡大した。そのため、執行額は予算額を下回ったが、補助人数は当初の目標値を上回ることが出来た。事業内容としては適正に執行できたと考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
補助人数（累計）	目　標	（　1,000人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	1,097人			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：市外及び県外で開催される大会等に派遣される児童・生徒に補助金を支給し、保護者の負担軽減を図る。平成24年度は県内大会：994名、県外大会：103名に対して補助金を支給した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
補助人数（累計）	目　標	（　0　）	（　1,000　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1,097			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：目標値は小中学生を対象とした平成23年度選手派遣人数調査（市独自調査）に基づき、一年度分の派遣人数を設定したものである。実績が目標を上回った要因としては、補助対象を県立学校、私立学校、社会教育団体に所属する児童生徒まで拡大したためだと考える。

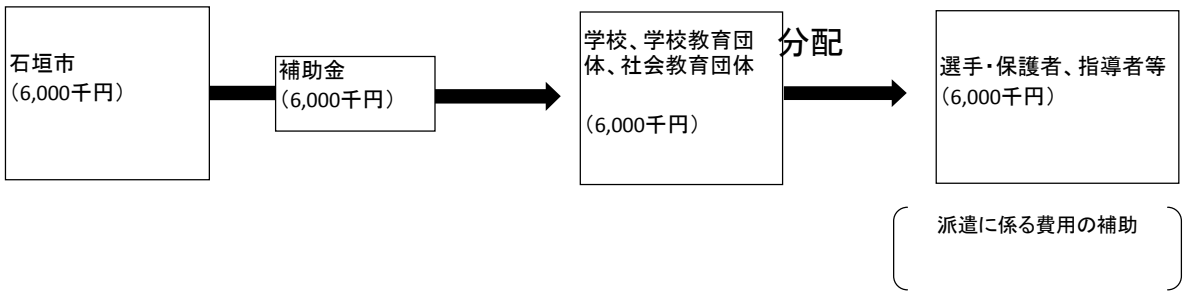
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	平成24年度は大会に出場する選手のみに補助金を支給していたが、指導者やコーチにも補助出来ないかといった要望が多くみられた。	平成25年度から指導者等も補助対象に含めるよう検討・調整を図っていく必要がある。

今後の取り組み方針

指導者等への補助も可能となるように補助金交付要綱を改正を検討・調整する。補助内容としては児童生徒のそれと同一とする。補助対象は大会登録された監督、指導者、マネージャーとし、客観的に補助対象と判断できる範囲内とする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,000	6,000	4,800	1,200	



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○…学校、団体を通して選手や保護者に間接的に補助しており、支出先は妥当であると考える。交付金の使途も適正である。　△…県内派遣については、現行の補助内容では沖縄本島の児童生徒との格差是正は不十分かと考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－⑤	「ユースアドバイザー」事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－２－（２）－ウ 子ども・若者の育成支援
担当部課名	いきいき学び課青少年センター	事業実施（予定）年度	平成24年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－３－（１）

事業内容

不登校、引きこもり、ニート等、問題や困難を有する児童生徒・若者への支援体制を整え、ユースアドバイザーを配置し、家庭・学校を中心に相談、助言、指導を行い、不登校児童生徒の低減を図る等、児童生徒・若者への自立支援を促す。

実施方法

■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,230				
	(b) 予算現額	6,933				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,297				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,933	0			
B. 執行済額		5,496				
うち交付金充当額		4,396				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		79.3%				
予算の状況の説明		ユースアドバイザー事業の事業承認が遅れ（7月末日認定）により、嘱託員（ユースアドバイザー）の任用期間の減少（3ヶ月）による減額補正を行う。また、巡回用車両購入（備品購入）を賃借料へ変更した事による執行減額が生じた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ユースアドバイザーの配置	目　標	（　３人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	３人			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				
達成状況説明	目標通りユースアドバイザーを配置した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
ユースアドバイザーの配置	目　標	（　３人　）	（　３人　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		３人			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					
進捗状況説明	目標通りユースアドバイザーを配置した。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業を開始して、まだ半年であり、今後ユースアドバイザー嘱託員の研修を踏まえ職員のスキルアップを図ることが必要である。 ・本市における児童生徒や若者が困難を抱える社会的環境は、若年出産や早婚、それによる経済力が伴わず家庭不和による離婚が増加し、離婚率が県内でも高くなっている。その結果家庭の貧困がおきるという負の連鎖があり、児童生徒・若者の家庭環境の改善が求められる。 ・家庭、学校、福祉行政、地域（主に民生・児童委員）等との横の連携がまだ不十分と思われる。長期に渡る不登校児の解消、対策として、早期発見、早期対策が必要であるが、関係機関との連携を図る調整機関としての窓口を行政や民間のNPO等の設置が必要である。	・ユースアドバイザーのスキルアップを図るため、県内および県外を含め研修や調査研究等の自己研鑽を図る等諸研修を実施する。 ・H24年度より、内閣府のモデル事業を受け、「子ども・若者支援地域協議会設置運営モデル事業」を実施しており、26年度へ向け、地域協議会を設置を目標に事業を進めている。 この地域協議会の設置により、生活改善［福祉］・修学支援［教育］・医療及び療養支援［保健、医療］・職業的自立・就業支援［雇用］・心理相談等［矯正、更生保護］に関わる関係機関を繋ぐことにより困難を有する子ども・若者の支援をする。また、困難を有する児童若者を早期に発見するため、総合相談窓口を設置し、地域における子ども・若者育成支援ネットワークの形成へ向け働きかけをしていく。

今後の取り組み方針

・ユースアドバイザー養成講習、研修会を隔月で実施する。
・平成26年度に「子ども・若者支援地域協議会」の設置へ向けて取り組む。
この地域協議会の関連組織として、子ども・若者に関する相談窓口「子ども・若者総合相談センター（仮称）」や特定支援機関の設置に向けて取り組んで行く。
・地域における子ども・若者育成支援ネットワークの形成を図る。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,496	5,496	4,396	1,100	

ユースアドバイザー事業 5,496千円

- ユースアドバイザー報酬費 3,780千円 ○ユースアドバイザー嘱託員（3名）
- 研修旅費等 666千円 ○県内、県外研修旅費
- 事務費等 314千円 ○使用料及び賃借料、需要費等
- 備品購入費 735千円 ○パソコン、事務用机・椅子、プロジェクター、自動二輪車費等

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	当初予定の車両購入費を、リースに変更したことにより、支出の軽減をすることができた。 また、嘱託員のスキルアップを図るため、研修旅費等により事業執行をスムーズに進めることができた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	９－⑥	すこやか子育て支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－２－（２）－イ 地域における子育て支援の充実
担当部課名	教育部学校指導課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－４

事業内容

幼稚園教育を希望する保護者が、安心して子育てできる環境整備のため、預かり保育を実施する。また、現在未実施の7園のうち4園で行うため、用人賃金をはじめ、各園への割り当て金、及び施設設備費に取り組む。

実施方法

☑直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,371				
	(b) 予算現額	10,190				
	(c) 増減額 (b-a)	1,819				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	10,190	0			
B. 執行済額		7,196				
うち交付金充当額		5,747				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		70.6%				

予算の状況の説明

１２月の事業開始予定が、１月中旬となったため。
※本事業は、実績額の修正報告を行っており、記載額は修正報告後の額となっている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
市内預かり保育の実施：4園	目　標	（　4園　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	4園			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明

子育て支援事業の一環として、保護者の就労支援と子育て支援の充実を図るため施設設備を行い、年度途中ではあるが今年の1月に預かり保育利用募集を行い4園で実施

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
市内幼稚園の預かり保育の実施	目　標	（　0園　）	（　4園　）	（　　）	（　　）	（　7園　）
	実　績		4園			
【参考指標】預かり保育利用者数	目　標	（　0人　）	（　80人　）	（　　）	（　　）	（　140人　）
	実　績		19人			

進捗状況説明

市内幼稚園のうち4園について預かり保育を実施。
預かり保育利用アンケート調査では、7割近くとニーズは高いものの、短期間のせいか実際の利用者は、低く当初見込んでいた利用者数の目標を下回った。（1月開始では、15名。2月から4名増えて19名の利用者数である。）

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	（ア）昨年度より保護者のニーズは高く、また市民の声として要望もあったが、内諾決定が遅かったため目標数を下回った。	●従来通りの預かり保育募集を実施。 1月中旬→預かり募集期間 2月初旬→石垣市立幼稚園預かり保育利用承諾判定会議（石教委） 2月中旬→保護者向け預かり保育利用合否通知書発送 4月→入園式後預かり保育開始

今後の取り組み方針

●今後、全園実施に向け、民間業者の理解や協力を得ながら推進する。
●預かり保育利用者の定員は、20名以内となっているので大幅に超えた際の預かり保育利用者可否の判定。（石垣市立幼稚園預かり保育利用承諾判定基準）市内大規模園（96名）で、不承諾となった利用者への支援の在り方。民間における午後からの預かり保育を利用する際の保育料の格差是正等

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,196	7,186	5,747	1,439	10

石垣市 7,196千円

- 賃金 1,123千円
  - ・教諭の賃金（４名分）
- 共済費 155千円
  - ・教諭の社会保険料等（４園分）
- 需用費 133千円
  - ・預かり保育に係る消耗品費（４園分）
  - ・預かり保育に係る燃料代費（４園分）
- 工事請負費 4,087千円
  - (株)玉吉建設 1,346千円
    - ・園児用ロッカー作成 ４園分 588千円
    - ・保育施設内装工事（あまかわ幼稚園）321千円
  - (株)秀光建設 955千円
    - ・保育施設内装工事（おおはま幼稚園）446千円
    - ・保育施設内装工事（おおかわ幼稚園）509千円
  - 請盛電工 926千円
    - ・保育施設設備改修工事（あまかわ幼稚園）110千円
    - ・保育施設設備改修工事（へいしん幼稚園）816千円
  - (有)和電工業 861千円
    - ・保育施設設備改修工事 861千円（おおはま幼稚園・おおかわ幼稚園）
- 備品購入費 1,698千円
  - (株)木田商会 16千円
    - キッチンカウンター
  - (株)メイクマン石垣店 159千円
    - ユニット畳他３点、クリーンロッカー、食器乾燥機他４点
  - (有)ダイセイ 434千円
    - 冷蔵庫、冷蔵庫他2点、食器乾燥機、食器乾燥機他3点、二槽式洗濯機ホットプレート他2点、CDラジカセ
  - (有)山田書店 52千円
    - 事務用デスク、椅子
  - 沖縄県学校用品 736千円
    - 4枚フラワーテーブル、造形用品運搬棚、造形キャビネット、パステルフックスタンド円卓シリーズ、円卓シリーズ丸座卓、傘立て
  - 本原畳店 32千円
    - 畳４枚
  - (有)チャレンジ物産 18千円
    - 収納ケース他３点、収納ボックス、文庫棚、
  - (有)ヤマト商会 251千円
    - 4枚フラワーテーブル

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業を実施するにあたり、環境整備の工事請負費のみ計上していたが、環境整備のためには備品等の購入も必要になったため、工事請負費の一部を備品購入費へ流用した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10－①	国際定期便誘致事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－４－（1）－ウ 県内事業者等による海外展開の促進
担当部課名	企画部観光文化スポーツ局観光文化課	事業実施（予定）年度	平成24年度～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－7
事業内容	行政、地元経済団体が一体となり、台湾、香港、上海、韓国等の東アジア圏の各航空会社及び航空局に路線開拓の要請を行うとともに、路線開拓先におけるマーケティング戦略や広報戦略を図るための観光シンポジウムを開催する。				
実施方法	■直接実施　■委託　■補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	15,016				
	(b) 予算現額	15,016				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	15,016	0			
B. 執行済額		10,418				
うち交付金充当額		8,333				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		69.4%				
予算の状況の説明		上海、香港でのプロモーションが日中関係の理由等もあり実施できなかったこと。予定していた沖縄県観光コンベンションビューローとの台湾航空会社への広報委託が変更になったこと。新規就航路線へのインセンティブ助成の規模が縮小したことが挙げられる。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
セールス＆コンテンツ委員会の開催	目　標	（3回）	（　）	（　）	（　）
	実　績	3回			
国際観光大使の委嘱	目　標	（1人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1人			
海外プロモーションの実施	目　標	（3カ国）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2カ国			
観光シンポジウムの参加人数	目　標	（200人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	200人			
宿泊助成件数	目　標	（300人）	（　）	（　）	（　）
	実　績	376人			

達成状況説明：事業を通して、主な開拓市場を台湾と韓国に絞り本市で撮影された映画で主演した台湾人俳優に国際観光大使の委嘱を行うなど、本事業の初年度として様々な事業構成を図れた。また、新石垣空港の開港に併せた国際チャーター便の誘致を達成できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
セールス＆コンテンツ委員会の開催	目　標	（3回）	（3回）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3回			
国際観光大使の委嘱	目　標	（1人）	（1人	（　）	（　）	（　）
	実　績		1人			
海外プロモーションの実施	目　標	（2都市）	（2都市）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2都市			
観光シンポジウムの参加人数	目　標	（200人）	（200人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		200人			
宿泊助成件数	目　標	（300人）	（300人）	（　）	（　）	（　）
	実　績		376人			

進捗状況説明：旧空港含め本市への初となる韓国からの国際チャーター便の誘致を実現できたのは、宿泊費用を助成するインセンティブを韓国の旅行エージェントにPRできた効果と考える。

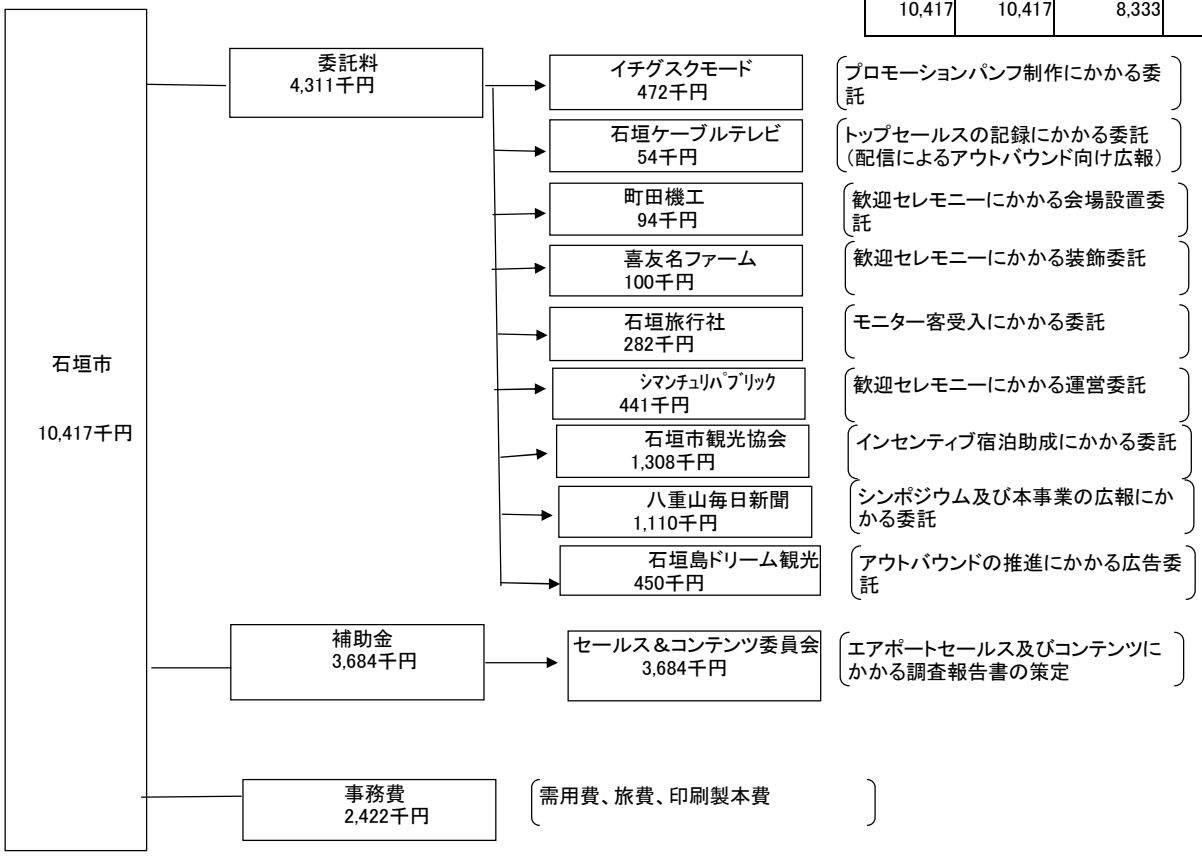
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本市において、国際チャーター便及び定期便化を推進するには、主に次の課題がある。 本市からのアウトバウンドを増やすこと。 国際線を受け入れるうえでのターミナル施設の課題及びハンドリングの問題。 外国人客に訴求する観光コンテンツの把握。 外交問題による影響。	就航路線の定着に主力を置きながらも、新規就航路線の開拓にも取り組む。

今後の取り組み方針

新空港が開港した当面の期間が国際就航便の定期化を図るチャンスと捉え、航空会社、旅行エージェントとのネットワークを充実させる。また、アウトバウンド需要を高める方策として、実際に本市をハブ空港とする旅行商品の実証を行う。更にハンドリングはじめ受入面での課題解決に向けて取り組む。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
10,417	10,417	8,333	2,084	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	本事業の初年度であり、さまざまな活動に取り組めた分、予算を十分に活用できなかった。本事業の目的である国際チャーター便の活発化につながっていることは実績として評価できると考える。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１０－②	石垣港国際交流拠点形成事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－４－（1）－ウ
					拠点都市機能の充実
担当部課名	石垣市港湾課	事業実施（予定）年度	平成２４～２６年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－11－（2）

事業内容

大型旅客船に対応したターミナルビルの検討及び、ビルへのレクリエーション施設・商業施設の導入を検討し、観光産業を含む国際交流拠点形成に向けた施策を検討し離島の観光振興を図る。

実施方法

□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,986				
	(b) 予算現額	9,986				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	―				
	A. 計 (b+d)	9,986	0			
B. 執行済額		9,419				
うち交付金充当額		7,534				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		94.3%				
予算の状況の説明		入札による残額が発生したが、予定どおり執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
石垣港の国際交流拠点形成に向けた検討調査の実施	目　標	（　実証調査検討　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	実証調査検討実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：国際交流拠点の形成に向け、大型旅客船に対応したターミナルビル及びレクリエーション施設・商業施設の導入の調査検討を実施した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
石垣港の国際交流拠点形成に向けた検討調査の実施	目　標	（　）	（実証調査検討）	（　）	（　）	（　）
	実　績		実証調査検討実施			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：国際交流拠点の形成に向け、大型旅客船に対応したターミナルビル及びレクリエーション施設・商業施設の導入の調査検討を実施した。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	予定していた調査・検討を実施 対象となる施設の進捗と、交流軸計画と連携を取り、整備を進めていく事が必要となる。	大型旅客船対応のターミナルビルの規模・施設導入の検討を行い、計画に沿った施設の提案が出された。今後、港湾全体の整備計画と連携を取り、石垣港を取り巻く社会情勢の変化を勘案しつつ整備を進める事でより利便性の高い施設を建設する事ができ、国際色豊かな空間を創出することで交流拠点として観光振興をも推進する事ができる。

今後の取り組み方針

調査・検討結果を、国際交流拠点形成に向けた大型旅客船ターミナル整備・計画の基本計画に反映させる。
今後、港湾全体の整備計画と連携を取りつつ社会情勢の変化を勘案し整備を進め、外航クルーズ客のニーズに対応した無駄のない効率的な施設整備を行い、常に賑わいのある場所とする事で国際交流拠点として観光振興を推進する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,419	9,419	7,534	1,885	

石垣市 9,419千円 → 委託料 9,419千円 → (株)国建 9,419千円 → 石垣港国際交流拠点形成事業に係る委託業務

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定は、石垣市が指定するコンサルタントにおいて、過去の実績・知識等を勘案し選定を行い妥当であると考える ○事業費規模・事業目的についても事業成果報告書にて確認した結果、適正であった
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	10 - ③	海洋基本計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－４－（1）－ウ 交流と貢献による離島の新たな振興
担当部課名	企画部　企画政策課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－9

事業内容	国の海洋基本計画、沖縄21世紀ビジョン基本計画、石垣市総合計画との整合を保ちながら、海洋を中心とする取り組み市民協働で進め、未来の「海洋都市いしがき」を創造する。 その指針となる「石垣市海洋基本計画」を策定する。
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	9,734				
	(b) 予算現額	9,734				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	―				
	A. 計 (b+d)	9,734	0			
B. 執行済額		8,652				
うち交付金充当額		6,921				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		88.9%				
予算の状況の説明		不要額が約1,082千円発生しているが、これは委員会開催における欠席委員の旅費・報酬費の清算によるものであり、当初計画していた事業内容は全て実施した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
海洋基本計画の策定	目　標	（　基本計画策定　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	基本計画策定			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明	外部委員会、内部委員会のそれぞれの委員会において検討し、パブリックコメント等も併せて実施することにより策定した。 計画書の冒頭で「海洋都市宣言」を行い、理念と責務を明文化し、7本の施策を打ち出している。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
海洋基本計画の策定	目　標	（　計画なし　）	（　計画策定　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		計画策定			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明	外部委員会、内部委員会のそれぞれの委員会において検討し、パブリックコメント等も併せて実施することにより策定した。 計画書の冒頭で「海洋都市宣言」を行い、理念と責務を明文化し、7本の施策を打ち出している。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・赤土対策、海岸漂着ゴミ対策、サンゴ礁へのオニヒトデ対策など沿岸域の総合管理については、農業従事者、市民ボランティア等の協力が不可欠である。 ・海洋再生可能エネルギーや海底資源などの海洋資源の利活用については、今後の調査が重要である。 ・石垣市周辺海域だけでなく、隣接自治体の海も含めた八重山の海ということで一体的に捉えた八重山圏域での海洋政策の振興促進は、大きな潜在的可能性を秘めている。 ・尖閣諸島は貴重な固有種の生息地であり、その周辺海域は豊かな好漁場であるが、自然保護、漁業振興において、基礎的データの不足ならびに環境整備が未だ整っていない。	・沿岸域の総合管理において、市民ボランティアの善意に依存し続けるには限界がある。海岸管理者である県の財政的支援が不可欠である。 ・海洋資源の利活用については、可能性を探るための調査から始める必要がある。しかしながら、そのためには莫大な調査費用がかかる。それを地方の一自治体が準備することは到底不可能である。よって、県・国が主体的に調査を行うことが望ましい。 ・八重山圏域での海洋政策の振興については、広域市町村圏事務組合が主体となって可能性を模索する方法が考えられる。 ・尖閣諸島については、崩壊が進んでいる生態系を鑑みた場合、自然保護の観点から現況データの収集が急務である。同時に、周辺海域の好漁場を活用するためには、避難港、無線設備などの環境整備が不可欠である。

今後の取り組み方針

石垣市海洋基本計画に掲載されている施策内容は、直接的な効果の発現や即時実現が困難なものが多々あり、同時に、石垣市が事業主体となり、石垣市のみで完結できるようなものでもない。よって、県、国、関係団体等と連携し、石垣市海洋基本計画の施策内容をできるところから進めていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,652	8,652	6,921	1,731	0

石垣市 8,652千円 → 委託料 8,652千円 → 株式会社水圏科学コンサルタント 8,652千円（海洋基本計画策定に係る委託業務）

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先は、実績、知識等を勘案したうえで契約しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模については、業務内容、成果等を勘案したうえで、妥当であったと考えている。 ・受益者の負担関係は、法令、業務内容等を遵守し、書類等事務手続きにおいても妥当であったと考えている。 ・活動目標、成果目標に即しており、その成果を鑑みた場合、真に必要なものに限定されていると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	石垣市

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	11－①	平和宣言活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	３－４－（２）－ウ アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交の展開
担当部課名	市民保健部　市民生活課	事業実施（予定）年度	平成24～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－7

事業内容

次世代を担う児童生徒を対象に、広島・長崎へ平和大使としての派遣、平和フォーラム・講演会等を開催して多くの市民が平和について考え学ぶ機会をつくる。
また「石垣市非核平和都市宣言」「石垣市核廃絶平和都市宣言」の両文の碑を建立することで、両宣言の趣旨を広く市民へ周知すると共により身近な存在にし、両宣言文を多言語化することで石垣市の平和への願いを国内外へ発信する。

実施方法　■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,308				
	(b) 予算現額	5,308				
	(c) 増減額 (b−a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,308	0			
B. 執行済額		5,077				
うち交付金充当額		4,062				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		95.6%				

予算の状況の説明
・不要額が発生しているが、「平和宣言文の碑」建立工事請負費の執行残によるものである。
・事業内容をより拡充させるため、予算残が生じた工事請負費等を他費目・使途へ流用した。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
「平和都市宣言の碑」建立	目　標	（　2基　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2基			
「平和都市宣言文」翻訳発信	目　標	（　6ヶ国語　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	6ヶ国語			
平和大使の派遣	目　標	（　4人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4人			
平和フォーラム・講演会の開催	目　標	（　3回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	2回			

達成状況説明
・「平和都市宣言の碑」建立は、前年度宣言した『石垣市核廃絶平和都市』を宣言した日の１周年記念セレモニーとしても時宜を得た事業となり、市民にとって身近に感じることができるものとなった。
・「宣言文」の多言語化は、英語、中国語、フランス語、スペイン語、ロシア語、アラビア語に翻訳することができ、石垣市ホームページ等へ掲載し、市、国内外へ発信することができた。 特に、英語訳については、『碑』にも活用することができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
「平和都市宣言の碑」建立	目　標	（　0人　）	（　2基　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2基			
「平和都市宣言文」翻訳発信	目　標	（　0ヶ国語　）	（　6ヶ国語　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		6ヶ国語	（　）	（　）	（　）
平和大使の派遣	目　標	（　0人　）	（　4人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4人			
平和フォーラム・講演会の開催	目　標	（　0回　）	（　3回　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		2回			

	進捗状況説明	・平和大使派遣については、「平和を考える作文・絵画」の募集、審査から決定された児童生徒の派遣であり、児童生徒に平和を考え、平和を学ぶ機会に参加させることができたものと思われる。 ・平和フォーラム・平和教育講演会は『石垣市核廃絶平和都市宣言』1周年記念事業として取り組んだが、開催時期が年末（12月27日）に当たり、見込み数よりも少ない参加者となった。が、『平和推進事業（報告書）』及び『平和宣言文/クリアファイル』作成配布により、「石垣市非核平和都市宣言」「石垣市核廃絶平和都市宣言」の周知に活かすことができた。

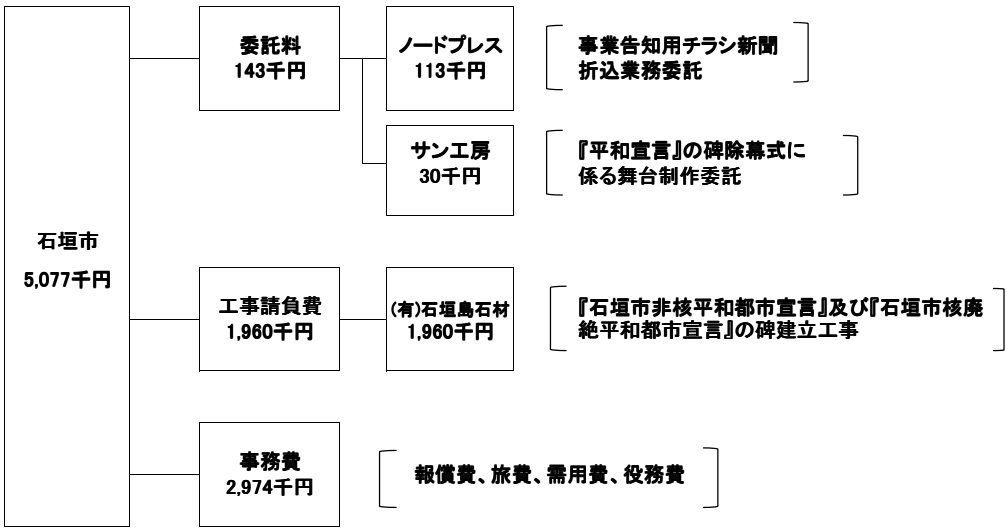
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	●平和フォーラム・平和教育講演会等への取り組み ・動員（参加者）が少なかった。開催時期を、前年度宣言した日付でもって『1周年記念事業』としたため、年末の多忙な時期（12月27日）となったことが大きな要因と思われる。 ・事業開催時の協力体制は、短期間の取り組みであったが、市民団体やスポーツ少年団等の協力も得られ大変良かった。また、その関わりの中で、市民や児童生徒に平和について学ぶ機会に参加させることができた意味で、意義深い事業であったと考える。 ●平和大使派遣について ・市内全小中学校の協力、及び派遣先広島市、長崎市との良い連携のもと執行することができた。	●行事の開催時期や場所、規模、対象者等より具体的に検討をする必要がある。 ●より充実した事業とするため、全庁的な取り組みも行う。

今後の取り組み方針

●参加しやすい雰囲気づくりや、団体や学校単位に出向く出前講座等も検討する。
●「石垣市平和事業推進総合調整会議設置要綱」「石垣市平和行政推進委員会規則」の活用を試みる。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,077	5,077	4,062	1,015	



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負『碑』2基の発注先が同一業者であることは、受注機会を複数の業者へ与えることを目的に、取り抜け方式で発注することとし、『碑』2基分をそれぞれ、市内在同業者全者に対し、見積もり依頼をしたが、1社を除く業者が辞退届をした結果である。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認したところ適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	